京城日報

寄書

ブランド氏近著 支那日本及朝鮮を讀む（二）

東京に於て　持地六三郎述記

クロマー伯はブランド氏の著『支那の近事及現下の政治』に付いて雜誌『十九世紀』に其批評を書いて居る。其中にこんなことがある。

『虛僞の標幟を振り翳して十耳其、支那其他東洋の靑年を惑はし、政治的擾亂の渦中に投ずる樣な頭に仕立てたことは我等英人に大なる責任がある。支那にブランド、埃及にミルナー、巴爾幹半島にダルハムス孃、メソポタミヤにベル孃が居つて、何れも我同胞であるが、東西に奔走して先づ事實を取り集め然る後深き知識と廣き經驗を基礎にした結論を其同邦人の面前に提示したが、此人々の努力は唯部分的に多少の成効を收めたに過ぎぬ。大體は少しも之にて動かし得なかつた。先入の僻見と、故意ではない誤謬の報導から生じた感情は、是等の人々の努力に由つては少しも動かなかつた。英國公衆の大部分は不思議に思はるゝ迄に政治上の想像が缺乏して居る。ブランド氏等の說く所の眞理を認めもせず、又夫れに付いて格別辯駁もせぬのは、一顧の價もないと思ふのである。英國風でなくては國の健全なる發達は世界の何處でも出來るものでない、英國が經由した路筋の外に踏むべき路はないものと信じて、話もし又行動もして少しも疑ふ樣子は依然として見ゑぬ。英國風も畢竟は約束的、島國的であるが、唯多くの年月を經て貴重なものになつたのである。夫も英國の爲めに貴重なまでで何處にも當て嵌まるものでないとには少しも氣が附かぬ。』

其後間もなくクロマー伯はブランド氏に書を寄せて次の樣に云つた。

『予が雜誌『十九世紀』に書たことが貴下の氣に入つたのは欣幸の至りである。これは予の眞實に信ずる所である。支那に付いては特別な知識を有たぬながらも、貴下の豫見の誤らざることが證明せらるゝの日が必ず來るべきを疑はぬ。然し豫言者にはよくある樣に貴下も貴下の豫言が事實の上に現る迄は、大分暫らく待たねばなるまい。大勢を制馭する者は、政治的變遷が早く行はるゝものと思うて、之に要する時間を短く見積りすぎる癖があり勝である。將來を見透した適例は佛蘭西のトクヴヰルである。彼は佛國第二帝政設立の初に於て帝政があゝなる、かうなると帝政未來記を書いだが、實に驚くべき精細な豫言であつた。然るに是が事實上に實現せらるゝ迄には實に十七年間を要した。』

朝鮮統治と基督教（上）

新教宣教師大會にて　水野政務總監演說

議長閣下、朝鮮に於る新敎宣敎師聯合大會員並に敎友諸君、予は本會より御招待を辱うして本日此第十回聯合大會に臨席することを得たるは欣喜に堪へず、謹んで本會に對し予の深厚なる祝意を呈する次第なり。

予が此聯合大會に參列するは今回を以て初めとなせども、予は過ぐる二年間他の機會に於て屢々諸君と會談したるを以て多數の諸君とはお馴染なり。從つて茲に開陳すべき何等特別の新材料を有せず。予は單に朝鮮に於ける諸君の事業を賞讃すると共に諸君の事業と朝鮮統治との關係に就いて少しく卑見を開陳せんとす。

予は近頃數次地方を巡視したるが半島の事情に精通するに從ひ、益、諸君が朝鮮人向上の爲めに辛勞せらるゝを認得したり。

朝鮮の改善發達の爲め內鮮人の協力は既に十五ヶ年以上に及べども惡政府惡政の創痍は全土を通じて尙ほ明白に殘存せり。今や生命財產の安全は確實に保證せらるゝも諸君の如く其本國に於て生れながら快適の境遇に生活し得たる人々は諸君の事業地として選定せる此地にありては尙ほ多くの不便と困難とを忍ばざるべからざらん。予は若し諸君が其犧牲的生活に對する敬意確信と歡喜とを了解せずんば予は必ず諸君に向つて氣の毒に堪へずして同情を表せしなからん。實に朝鮮は其文明の進步に於て諸君の盡力に負ふ所極めて多大なり。是決して阿諛の言にはあらざるなり

諸君、吾等は各其立場を異にすれども共に朝鮮に於ける同一の目的の爲めに働きつゝある同勞者にあらずや。而も精神狀態改善の爲めには宗敎の感化ほど緊要なるものなし。諸君の事業は政府に取りては多大の援助となり且つ直接間接に全人民の幸福と繁榮とを增進するものなり。而して吾等は深く基督敎を尊重し其布敎に對しては出來得る限りの便宜を謀れり。之れが爲め周知の如く昨年三月私立學校取締規則を改正し其翌月布敎規則を改正したり。又之と同時に宗敎團體を法人と認むる件は同年六月に實施せり。十年以前此時の事情に應じて制定せられし複雜なる稽制の下にありたる諸君は之によりて重荷を卸すに至りたるを信ずるなり。

小說 運命（一七）

原田東風

『だが診て貰うだけは診て貰つたんだな、仕方がない』

暫くすると、靑木はやッと決斷したやうに言つた、目前の窮境や前途を考へると、愈々不安に愈々心細くなるが、さりとてそんなことを考へてる場合ではなかつた、妻君の衰へた顏を見ては、それよりも更に不安が感ぜられるのである。

『ですから診て貰うたッてたゞでは診てくれませんてばねえ』

『そりやア何んとかするよ、出來ないたッて爲すにはゐられないが、兎に角牧野の所へ往つて診て貰つて來るんだな、病名でも分れば又何んとか仕樣があるだらう』

『牧野さん？あんな因業な不親切な醫師に誰がかゝるもんですか、私もう懲々しましたわ』

『そりやア彼んな奴は俺だッて癪に障るよ、癪には障るがこの場合止むを得んぢやないか、他へ往けばそれこそ現金だらうけれど、彼奴なら知らない譯ではないから、差當り診て貰つて來る位は何んでもないだらう』

『診て貰うだけだッて診察料は取りますわ』

『そりやア取るだらうさ、取つたッてこの次ぎに持つて往けば好いじやないか』

『否ね、他の醫師ならそれでも好いでせうけれど、あの牧野さんばかりはさうは行きませんわ、少し出來たッて私は厭ですわ』

『……』

靑木は自分で自分を嘲るやうに言つて憫然とする。それを見るのが妻君は堪らなかつた

妻君も牧野といふ醫者にはすッかり懲りてゐた。

『じやア仕樣がない大堀の所へでも往くさ』

『大堀さんだッて未だ四五圓殘つてゐるじやありませんか』

『そんなことを言つてゐた日には診て貰う所がないじやないか』

『だからお金なしでは診て貰う所などはありませんわ』

『と言つてそんな容態では一日だッて打ッちやッては置かれないよ』

『否ね、何うせ今まで打ッちやッて置いたんですから、五日や十日延びたッて何んでもありませんわ、ですから出來るものなら何とか早く都合して下さいな』

『そりやア都合するよ、都合することは都合するが……併し困つたなア』

靑木は又悄然とする、口では強く言ふもの、今の境遇ではなごと手も足も出なくなつてゐる。他のことゝは違つて言はゞ非常の場合だから、何とか都合をせねばならぬし又何とかなりさうにも思はれるもの、而も思はれるばかりで、何の確信もなければ成算もない、それに氣付くとやはり失望せずにはゐられないのである。

『ホントウに困りますわねえ、せめて貴方が何處かへでも出てゐらッしやると好いんですけれど……』

靑木が悄氣ると妻君も一倍悄氣返つて言ふ、たゞさへその日〳〵の生活に追はれてゐる所へ今又自分が病氣になどなつては、それこそ何んなになるか分らない、それを思ふと暗い心はいよ〳〵暗くなるのだが、さうかと言つて靑木も徒らに怠けてゐるのではない、暢氣なやうに見ゑても他人よりは苦勞性なので今日この頃は分けても苦勞に疲れてゐる、そこへ又自分の病氣で靑木に苦勞をさせるのかと思ふと、靑木に對して氣の毒でもあれば濟まぬとも思へて、今まで無理に急き立てたり心配させたりしたのが、何んだか申譯ないやうな氣持もすれば心窃に悔まれもした。

『斯うなつちやアグズ〳〵して居られまいよ、死ぬか生きるかの場合だからなア』

『ご言つてオイソレと好い所もありますまいしねえ』

『ウム……いよ〳〵ないとなれば遠在にでも電車の車掌にでもなんでもなるさ、仕方がない……』

發行所　京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　編輯人 泥谷良次郎　印刷人 小川三之介　電話長六千九百番・六千九百二番　振替京城三〇〇番

新刊紹介

▲面白倶樂部（十月號）天下一品の滑稽雜誌で殊に本號の評判は素晴らしいものである一讀噴飯再讀哄笑の中に社會の百事相を諷刺滑稽化して更に深刻な敎訓を含み而も誰が讀んでも面白くあらゆる階級の人士より引張り凧の有樣で現文は本號の呼物で現代一流の漫畫家の筆に成り何れも珍を極め妙を盡し其他小說講談落語劇評等興味深き中何にも氣の利いた雜誌である（金八十錢　東京本鄕區駒込坂下町講談社）

▲金の船（十月號）新時代の少年少女雜誌として全國到る所の學校に家庭に讀者を有す（金三十錢　東京麴町區九段下キンノツノ社）

▲敎育時論（九月十五日發行）金拾八錢　東京麴町飯田町四開發社

▲中央法律新報（九月十五日發行）金二十錢　東京日比谷其社

▲極東中央公論（創刊號）極東の風雲混沌として茲に四鼎諸將來の安定亦迷惑、雖きの秋に當り此の混沌たる極東の政局其他を廣く天下に紹介し國策の羅針盤たらんとして今回沿海州に於て鈴田正一氏主宰の下に創刊せられたるものなり（金壹圓△浦鹽斯德市スイフンスカヤ街二四其社）

▲ロシヤ文學（創刊號）從來の研究紹介が無責任なる者多き點より眞仕ある紹介を爲さんとする理想の下に發刊せられたるものなり本號に限り金七拾錢△東京神田區猿樂町三ノ一露西亞文學研究會）

▲英語署名の研究（淸水昔氏著）文書締結の作成者を表明するは勿論法律的生活上よりするも最も重大な關係あるのみならず又歐米人との取引に關連する者の爲めに記述せられたるものなり（金壹圓△東京麴町區富士見町六ノ七研究社）

▲民育講談抽ぐ千本杉（天野雄彥氏著）在來の講談は低調にして修養ある士君子の一顧に値するもの少なきを慨し一は民育に資し一は敎養の助けたらしめんとし發刊せられたるものなり（金七十五錢△東京赤坂區溜池三一中央報德會）

▲朝鮮敎育（第六十九號第七十號）金二十錢△朝鮮總督府學務局內朝鮮敎育研究會

▲文化（九月號）金二十五錢△京都市上京區北小路新町西入內出版株式會社

▲戰友（九月號）金十錢△東京麴町區四川流堂

▲宜靑年（九月號）金二十錢△東京本鄕區千駄木町一七三其社

▲みどりの友（九月號）金二十五錢△東京芝區南佐久間町二其社

▲食物ゝ療生（九月號）金二十五錢△東京牛込區市谷町五一石塚食養社

▲日本農業雜誌（九月號）金三十錢△東京澁谷町中澁谷二七七日本農業社

▲水產界（九月號）金三十錢△東京赤坂區溜池一大日本水產會

▲子供之友（十月號）金二十五錢、東京雜司ヶ谷婦人之友社

▲婦人活動（九月號）金三十錢、東京小石川區大塚坂下町一一四柔道會本部

▲內外評論（九月號）金五十錢、大阪上福島北一內外評論社

▲日本之關門（九月號）創刊滿十週年を迎へたる本誌は頗る面白み改め來れるが本號は其記念號として特に各大家の名論を滿載し各種色の文字紙上頁に花を添ふ（金二十錢、下關東南部町日本之關門社）

▲入營から除隊まで（藤川記水氏多田毅三氏共著）首題の如く入營より除隊迄を新兵時代、初年兵、古兵に分ち更らに四十一篇に渉りて詳細記述し一讀、況を味ふ如く殊に漫畫の大家多田毅三氏得意の妙筆は實際を目撃するに異らず入隊者在營者及家の實況を知らんとする者好伴侶なり（金九十錢、東京市外巢鴨町巢鴨一七六八な友社）

▲婦女界（十月號）（十月一日發行）一部金…二錢、東京淀橋町…其社

僅かに十五分

毎日十五分の讀書をするとせぬとは各人一生の運命を決す！

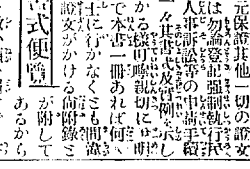
著者	書名	定價	送料
	社會・經濟・政治		
福田德三	改訂增補 國民經濟講話	三・〇〇	一八
福田德三	國民經濟講話索引	・四〇	・〇六
福田德三	經濟學論攷	七・八〇	二四
福田德三	改訂 經濟學考證	三・五〇	一八
福田德三	黎明錄	二・五〇	一八
福田德三	暗雲錄	三・五〇	一二
福田德三	現代の商業及商人	一・五〇	一二
高橋誠一郎	經濟學史研究	四・〇〇	二四
三浦周行	國史上の社會問題	三・五〇	一八
金澤庄三郎	言語に映じたる原人の思想	二・八〇	一二
長沼賢海	國民思想と國史	三・五〇	一二
麻生久	勞働運動者のひとり言	二・〇〇	一二
宮崎龍介	地底の露西亞	二・五〇	一二
石田三治	全トルストイ	二・五〇	一二
井箆節三	ユートピア物語	二・五〇	一二
上村行彰	公娼研究 賣られゆく女	二・〇〇	一二
川村多賀二	生命と性慾	二・二〇	一二
高橋五郎	人種改善學	一・八〇	一二
正親町季董	思想は動く	二・五〇	一二
池田龍藏	無盡の實際と學說	三・五〇	一二
池田龍藏	株券市價論	二・五〇	一二
池田龍藏	重要商品相場の建方表	二・〇〇	一二
佐野學	日本國民性の研究	三・八〇	一八
吉野作造	普通選擧論	二・二〇	一二
信夫淳平	巴爾幹外交史論	五・五〇	一八
信夫淳平	外政新論	三・八〇	一八
信夫淳平	印度の現勢	三・五〇	一八
煙山専太郎	獨逸膨脹史論	三・五〇	一八
竹內克己	支那政黨結社史（全二）	四・〇〇	各一二
細井肇	閥族罪惡史	二・八〇	一二
池邊義象	日本法制史書目解題（全二）	四・五〇	一八
	文藝・美術・音樂		
飯田旗軒	ゾラ・巴里	三・五〇	一八
戸川秋骨	獵人日記	三・〇〇	一二
伊藤白蓮	戯曲 指鬘外道	二・二〇	一二
伊藤白蓮	白蓮自選歌集	二・二〇	一二
水戸部茂野	英文史劇 楠公父子	一・五〇	一〇
信夫淳平	佛文忠臣藏	二・〇〇	一二
富田碎花	ホイットマン詩集『草の葉』上下（全二）	二・〇〇	各一二
富田碎花	（詩集）『地の子』	一・五〇	一二
百田宗治	（詩集）『わかるみの街道』	一・五〇	一二
成瀨無極	東山の麓より	二・五〇	一二
河東碧梧桐	句作講話『碧梧桐は斯う云ふ』	二・二〇	一二
野口米次郎	日本の美術	四・二〇	一二
山田耕作	指鬘外道『夢の歌』曲譜	二・八〇	一〇
東京彩壺會	柿右衞門と色鍋島	二・五〇	一二
	新錦繪帳（全六冊）（以下續刊）		
(1)北野恒富 吉井勇	浮世繪の顏	二・五〇	一二
(2)太田三郎 長田幹彥	傳說繪物語	二・五〇	一二
(3)小川千甕 小山內薫	イソップ喩譚	二・五〇	一二

東京京橋區南槇町・大阪三休橋南　株式會社 大鐙閣　振替 東京三三六一八番・大阪二七一五五番

（大鐙閣出版目錄進呈）

大阪屋號

最新刊



速算器

誰にもワケ無く出來る　特價ポケット形上製　東京麴町區九段下 三光社

天勝堂

人にゴマカされぬ 證文の書方

（新式便覽）

呉服屋が五十四で出來る　呉服店開業法　拾萬部限り無代進呈　東京九段 久保濱呉服店

出版案內　新詩歌本　鴨綠江ぶし やすぎぶし　京城本町 振替二三二二

財團法人 電機學校 生徒募集　東京神田區錦町

勸業債券　一等三千圓 其他　賣出　多額の割增金添附　最初ニヶ年間八回抽籤　九月十五日ヨリ同三十日マデ

値段の改正は

衞生家の必携すべき要器　特許 オゾーンパイプ　OZON PIPE　豫防の十錢は治療の拾圓に勝る　オゾーンの適應症

發賣元 合資會社 オゾーン商會　特約店募集

陸海軍御指定品　代表的國產煉乳　牛首印ミルク　發賣元 大阪道修町 小西商店洋酒部

帝國全權及び隨員決定（公表）

【東京發急電】華盛頓會議帝國全權左の如く公表せらる

貴族院議長 公爵 徳川家達
海軍大臣 男爵 加藤友三郎
亞米利加駐箚大使 男爵 幣原喜重郎

華盛頓會議帝國全權委員被仰附（各通）

横田千之助
埴原正直
松平恒雄
林毅陸
寺尾亨
陸軍少將 田中國重
海軍少將 加藤寛治

華盛頓會議帝國全權委員隨員被仰附（各通）

會議費二百五十萬圓

【東京電報】今回の華盛頓會議に要する費用は幾ばく外務省より其の豫算を大藏省に提出し過般の閣議に於て審議決定を見る由なるが聞知する所に依れば其の金額二百五十萬圓にして這は既報の如く第二豫備金中より支出する由なり

北京政府の決定
但し米人側の報告

【北京二十六日發電】米國人側の報道に依れば北京政府は山東問題の對案を提出するに決定したりと其の内容左の如し

一、青島を商港として解放し外人の居住貿易を許し市會議員に外人の參加を許し但し支那人議員は過半數を占むる事
二、山東鐵道延長煙濰鐵道の新借款締結に贊成する事
三、山東鐵道は支那の國有とする事
四、沿線礦山は支那に回收する事
五、稅關を支那に回收する事

國境方面の視察【下】
渾然として一家の風あり
國友警務課長談

內鮮融和の實

…警備の任に當れる我警察官と一場の講話會に列席し聊か感想を述ぶる所ありしが彼等は熱心に之を聽取し思ひ設けざる歡迎を受けたり、又同地方に於る一般の狀態にして且つ旺んなる其意氣に至つては眞に想像も及ばざるものあり余の視察せる地方一帶の警官は一日平均十里乃至十五里の距離を東西しつゝ專念警備の任務を遂行せるなり、甚だしきは二十五里乃至三十里の長途を一日にして突破する警官稀ならずと云ふ、以て如何に健脚にして且つ其意氣の旺んなるものあるかを知るに足らん又同地方に配備せる警官は內地人のみにても六百名を算せるが彼の滿浦鎭より新義州に至る八十里の間、楚山慈惠醫院に入院せる巡査二名及自宅療養中の巡査二名都合四名の疾病者を出せるの外

悉く無病 息災にして熱心職務に勉勵せるの事實に見ても此等の消息を窺知するに足るべし、然も義勇奉公の念に燃ゆる彼等が十誡同胞共榮を提唱し而して之を實行しつゝある所謂警察當局者に於て最も憂慮しつゝありし楚山渭原地方の人心の如きも今や全く鎭靜に歸し總督官憲の言に服從するのみか却て能く當局の施設に協力しつゝあるの態度を以て士卿の向上發展を圖りつゝあるなり、予は前述の如く村に於ける[illegible]の求めに應じ

一般住民 に接觸しつゝあり殊に警察官の配偶者にして多少產婆の心得ある者等は進んで鮮人の產褥を訪問し熱心に介抱を爲すが故に住民及警察官の間は恰も水魚の關係にありて今や渾然たる融和の實を擧げつゝあるなり又從南に於ける一內地人巡査は曾て暴徒征伐に際し功勞金三十圓を授與せられたるに彼は私服すべきものにあらずとして之を貧困なる附近の鮮人に分與したるが爲なり又同所附近の老幼男女に對して國語教授を開始せるの結果、非常なる好感を以て迎へられ先般彼の姉某なる者が後産の下らざるに難澁せるを聞知したる界隈の鮮人は

大擧群を爲して 同家を訪れ各自手を分けて之を介抱したりと云ふ美談を殘し居れり又玉甫駐在所の內地人巡査某は同地鮮人某の娘にして過般公立普通學校を卒業せる女を配偶者として國境に於て共に國策を普及しつゝある等の事實に見て…あるの結果曾ての策源地として目せられし同地が忽ち一變して內鮮融和の模範村たる事實を示すに至れる其實例を擧ぐるに遑なき現狀を示しつゝあるなり

進んで妻女たれ

國境地方に於る內鮮人は實に斯の如くして融和せられつゝあり此間余の最も遺憾とする所は日夜奉公の精神を以て我帝國の爲に盡瘁しつゝある警察官にして現に配偶者を有する者甚だ少き事是れなり、現在同地方に於る警察官中配偶者を有する者僅に三分の一に過ぎず、他の三分の二は悉く獨身者たるなり、彼等は配偶者を求めんとするも世間徒らに國境の危險を云々し其不便不利を宣傳しつゝあるの結果婦女にして進んで之に赴かんとする者極めて稀なり、此れ誤れるも甚だしき者にして之を繁雜なる都會生活の夫れと比見せんか眞に樂園たるを失はず。須く義勇の精神を以て彼等の爲め其妻女たらん事を希望する健氣なる婦女の出でん事を切望して已まず、余不肖なりと雖も此等の婦女子の爲めには何時にても月下氷人たるを辭せざるなり

教育及衛生問題

最後に一言したきは教育と衛生の問題なり、山間僻遠の地に在つて父兄の最も憂慮すべきは子女の教育を如何にするかにあり現に國境在住の內地人にして此點に苦慮せざる者恐らく無し其大部分は內地若くは都會地の親戚に委囑せしめ以て教育を施しつゝあるも中には公立普通學校に入學せしめ鮮童と共に學ばしむるの餘儀なき事情にある者あり、我が總督府當路者に於ては此等の點に心を致し咸鏡南北及平北の三道中何れにか內地人兒童收容所を設立し以て僻遠地に於る子女の委託教育を施さんとするの計劃を目論まれつゝあるを以て遠からず其實を見るに至るべく同地に衛生方面の施設も更に一層の充實を計るべき必要あるを感得して歸來せり云々（完）

橫田局長の談話

【東京電報】二十七日華盛頓會議帝國代表隨員を命ぜられたる橫田法制局長官を訪ひ祝辭を申せば「予は昨晚交渉を受けたのだが自分としては如何にも大なる光榮なるを以て喜んで御引受けをしたのであります多分來月十二日橫濱解纜の香島丸にて渡米することであらうと思はれます」云々と喜びの色面に現はして居る

朝鮮醫學會總會【三】
二十八日公會堂に於て 來會者三百餘名

朝鮮醫學會第十回總會は二十八日午前八時より市內長谷川町公會堂に於て開催來會者約三百餘名醫學博士志賀潔氏座長に推薦され講演及議事の進行を計れるが同會は二十九日も引續き之を開催すべしと順序即ち左の如し

△第一日（廿八日）順序

演說（講演十分討論二分間とす）

一、森期加答兒の『ラヂウム』應用例 張[illegible]準君（京城）
二、朝鮮人精神病者の妄覺に關する[illegible]
三、統計的觀察 原振緒君（京城）朝鮮人の人類解剖學的研究（第五報告ニ呼吸器） 醫學博士 久保武君（京城）
四、印果乳嘴腺の發育に就て 沖津耳君（全州）
五、[illegible]腸重疊の一例 朴昌薰君（京城）
六、胃充滿度と血壓との關係 醫學博士 岩井誠四郎君 武田三郎君（京城）
七、肝臟膿瘍に就て（第一回報告）アメーバ性赤痢に併發せる肝臟膿瘍の組織的變化[illegible]
八、[illegible] 水野文次郎君（龍山）
九、十二指腸蟲患者に於ける『エオジノフイリー』に及ぼす『アドレナリン』及び『アトロピン』の影響 平岡辰二君 任明宰君（京城）
一〇、『ラッシブランド』氏[illegible] 內村安太郎君（平壤）
一一、喉菌試驗法を應用せる『チフス』の早期診斷に就て 排葉芳朗君（京城）
一二、赤血球の沈澱速度に就て 村上純一君（大邱）
一三、特別講演（演題未定） 來賓 醫學博士 泰佐八郎君（東京）

正午休憩（午後一時式開始）

一、開會の辭 副會長 和田八千穗君
一、會務報告 幹事 水津信治君
一、議事 會長選擧
一、來賓入場
一、會長挨拶
一、來賓祝辭
一、寫眞撮影

一四、特別講演（演題未定） 來賓 醫學博士 長與又郎君（東京）
一五、『ムコーヅス』中耳炎に就て 來賓 野村悟一君（安東）
一六、二、三藥物の變化『アドレナリン』拮抗劑に對する拮抗作用 齋藤[illegible]平君（滿洲）
一七、一二、精神病群に於ける植物[illegible]
[illegible]、麻刺利亞の婦人科的併發症に就て（第二報） 沖津耳君（全州）
[illegible]（演題未定） 醫學博士 吉城眞君
[illegible]作師經機能的檢査に就て 北村[illegible]君（京城）
一八、麻疹に於ける『アルカプトン』尿の一例 森方正君（後一郎）
一九、再回歸熱『スピロヘータ』の既分布狀態 佐竹秀一君（京城）
二〇、『コレラ』保菌者は果して流行の源泉なりや 藤原芳朗君（京城）
二一、巨大なる腎臟結石に就て（附）標本供覽 藤井孝一君（平壤）
二二、水痘の研究（第一回報告） 小川森柳 村昌嘉君（京城）
二三、水癌に就て 佐藤小五郎君（仁川）
二四、本邦家畜[illegible]の保溫比較 富士貞吉君（京城）
二五、婦人科領域に於ける『ワクチン』の應用及副作用（第一回報告） 工藤武城君（京城）
二六、色素性蕁麻疹に就て 中岡八束君（京城）
二七、乳腺囊狀腫瘍の成因に就て 小川蕃君（京城）
二八、胃の緊張及運動に及ぼす迷走神經機能に就て 醫學博士 岩井誠四郎君 武田三郎君（京城）

箱根の東宮

【箱根發電】箱根宮の下御用邸に入らせられたる東宮殿下には廿九日午前中千石原なるゴルフコートに成らせられ侍從等と共にゴルフの御催しある筈にて御滯在中箱根山中の御探勝勿論近く富士山麓に御遊あらせらるゝやに漏れ承はる

國賓奉迎文

【東京電報】英皇太子殿下には來春三月中旬印度御出發四月十四日軍艦にて橫濱御入港の趣き既報の通りなるが東京市長主催の大奉迎會席上の奉迎文は黃金製の箱に納めらるゝ由にて同箱は本邦特有の精巧なる美術裝飾を施す筈なりと

五十年祝典

【東京電報】鐵道省にては來る十月十四日擧行の鐵道創設五十年祝典に際し大皇陛下の臨幸を仰ぎ奉るべく既報の如く宮內省の手を經て奏請中なりしが二十七日皇太子殿下を名代として御差遣の旨御沙汰ありたり

徳川議長の談話
全權を仰せ附られたる

【東京電報】華盛頓會議帝國代表を仰せ付けられたる貴族院議長徳川家達公を訪へば予は數日前原總理大臣より華盛頓會議に帝國全權として出席するやう內交渉を受けたが予は餘りの大任に實は一驚をしたもの、不肖後學の者がかゝる國家の大任を御引受けすることは無論國家の不利益と存じ再三再四御辭退を申したのであるが原首相は國家の爲め是非共承諾せよとの熱心に勸めて呉れるので予は此の大任を受くるや否やを熟考の上御挨拶すべしとて第一回の會見を終り熟慮の結果貴族院議長たると全權たるとは國家の爲めに盡す上に變りなしと思ひ不肖の身をも省みず此の大任を引受けしたる次第である予は到底國家の期待に副ふが如き成功を得ることは困難にて寧ろ恥を爲すに過ぎざるべし最も原首相は予を苦しめる爲めに予を全權たらしめたものでなく之れ國家を思ふ精神誠意より予に之れを勸めたものである故に予は之れに酬いて單に御引受けしたる次第にて今日の場合之れ以上御話をすることは出來ない」云々

加藤海相の談話

【東京電報】華盛頓會議帝國全權委員に仰付けられたるが加藤海相を訪へば例の無愛想にて「何日出帆のだ僕は未だ何も貰はないから感謝官に聞いて呉れ全權になつて渡米するからこそ何等高所に對して[illegible]ないから話す事はない唯行けと云ふから行くに過ぎないのだ」云々

帝國全權大使 徳川公爵

同上 加藤海相

同上 幣原男爵

『鮮人本位』の產業とは何ぞや
政治上より見たる民心の歸向（四）
佐瀨熊鐵（寄）

朝鮮の學齡、即ち日清戰爭以後約三十年を經過する今日は、輩出したる幾多知名の學者を出せしむべき道理なるに其之を見ざるは、何故なるや。朝鮮學生が或原因に由り學問に熱心なる能はざる事情の存するに由るか、或は潑溂なる學理を研鑽するに適せざるか或は生理的缺陷の存するものあるに由るか。斯る問題を論ずるは吾人の目的にあらずと雖も、現實に人材の缺乏を感ずる點に至りては、誰人も否定する能はざる所なるべし。但し聰明なる朝鮮人士にして齒の觀懷一度此點に思ひ到らば官界又は實業界に於ける人物配合の不滿は、半を消散すべきを得ざるなり。

獨立騷擾以後、朝鮮人の要求中その聲最も大なるものは差別撤廢の四字にありしが爾來官吏の待遇は著しく改善せられ、一般社會に於ける朝鮮人の地位亦向上せるは明かなる所にして差別待遇の不平は何時となく聞かざるに至れる今日却て『鮮人本位』の聲を聞く吾人は其矛盾に驚くよりは寧ろ望蜀の慾飽なしとの反感を誘起せんことを恐るゝなり一視同仁の大詔は嚴として日月の如し。爲政者が內地人を本位として偏頗の政を行ひ內地人が鮮人を擯斥して獨占を企つるが如き事實あらざる限り『鮮人本位』を提唱して朝鮮人及朝鮮人の事業に限り國家の補助を與ふべしと主張するは取りも直さず更に大なる差別待遇を行はんことを望むものと謂はざるべからず。之に因りて內地人に好感を與へざるは謂ふまでもなく、徒らに實行不可能の論議を絶叫するに止まるは、賢明なる鮮人士の爲めに取らざる所なり然れども某侯某伯は固より他の人々と雖も、此見易きの道理を辨ぜざるの理なし。然も却つて尙ほ之を爲す。吾人は侯伯等が知らざるに優るの苦衷の存するを察するなり。近來一般民心の趨向を察するに向學の志勃然として起り、產業振作の聲藹然として生じ來れり。是れ無謀なる獨立計畫の全く無益なることを悟り、教育の普及と產業の進步に因り、人民の實力を養ふの必要なるを自覺したる結果にして、此氣運を助長せしめ以て人民の幸福を計るは、先覺者たる侯伯等の目的とする所なるべし故に產業調査會の開かるゝに當り、其導ゆる維民會の提出せんとする建議書の如きも、强て排斥せしめ、而して後自然の政治に由り徐に實行不可能の理由を覺らしめんとするの[illegible]にあらざるなきを得んや、況んや鮮人本位の要望を善意に解釋すれば、[illegible]することは亦深く咎むるに足らざるものあり。兒童に教育を受けしめんには學校の設立を要望せざるべからず。產業に就かんとすれば資本を要す。資本なきを自覺せる人民が强呼にも救助を求むるも亦自然の勢ひなり。且つ之を政治上より觀察することは、彼等は自ら貧者なり弱者なりと告白せり。今や貧弱なる人民は獨立し得ざることを自覺して、國家の特別なる保護の下に生きんことを決心せり。吾人は爲政者が此趨勢を利用し、以て產業の發達に資せんことを望む若し其れ固有の民族同思想に基く結局の目的に對しては、須らく大處高處より達觀して暫らく之を不問に附し、徐に善政を施して洽ねく皇化に浴せしめ永遠の間に自ら忠良の國民たらしむるの大策に出でんこと希ふものなり。（完）

司法次官更迭

【東京電報】二十六日午後四時原首相は官邸に平沼檢事總長を招き富谷大審院長が十月四日定年制實施に依り退職せしむる事につき其の後任につき同總長を豫選し一時間半に亙り內交渉を遂げたり同時の結果左の如く夫々更迭あるべしと觀測せらる

任大審院長 平沼檢事總長

任檢事總長 鈴木司法次官

山縣長官北行

【奉天電報】[illegible]山縣關東長官は秘書課長等を從へ二十七日朝通過北行せるが[illegible]訪問は彼の大連會議と共に特に注意するの要あるべしと

徳川議長報告

【東京電報】徳川貴族院議長は二十八日正午首相官邸に於て各派交渉委員を招き華盛頓會議參列の件を報告すると共に[illegible]

川村長官視察

【奉天電報】大連鐵道方面視察中の川村滿鐵社長一行八名は午後四時五十分來奉奉陽館に投宿し各方面を視察し[illegible]を訪問の上出發北行の豫定なり

久保局長重任

滿鐵京城管理局長理事久保要藏氏は二十六日附を以て重役任期滿了し同時に重任を命ぜられたり

京城府勢監察

總督府監察官時實秋穗氏は屬官五名を從へ廿八日より京城府に出張府勢事務の監察に着手せり

ウ將軍旅程

【奉天電報】支那各地視察中のウッド將軍一行十餘名は京奉線にて午後七時半奉着九時發、安奉線列車にて朝鮮經由日本へ向へり

ウッド將軍通過

比律賓總督ウッド將軍はフオーブス將軍マツコイ參謀長一行十餘名は二十八日午後七時廿分南大門通過東上したるが停車場には大庭司令官、淨法寺師團長、安滿參謀長其他の出迎へありたり

辭令

任總督府技師 天岸敏介
[illegible] 宇田[illegible]
任總督府道警部 補咸鏡北道在勤ヲ命ス 神宮與太郎
任總督府道警視（七等）[illegible] 油布[illegible]市
任京城醫學專門學校教授 [illegible] 前能[illegible]
京城第一高等普通學校教諭兼京城醫學專門學校教授 福富一郎
任仁川公立商業學校教諭 朝鮮公立商業學校教諭 德光[illegible]
任仁川公立商業學校教諭（七等） 林[illegible]
總督府裁判所書記 金[illegible]
任朝鮮總督府判事 [illegible] 賣田長平
任總督府典獄 [illegible] 野村光[illegible]
總督府技師 [illegible] 波多江千代吉

醫學會懇親會

朝鮮醫學會にては二十九日午後七時より市內花月樓に於て盛大なる懇親會を開催すべく列席者二百名を算すべしと

醫學會歡迎會

朝鮮醫學會第十回總會に列席中の來賓十餘名の歡迎宴を二十八日午後八時より市內明月館に於て開催せり

京電四回拂込

京城電氣株式會社第四回拂込は總額三十萬圓にして一株に付五圓づゝ、十月一日迄に拂込を了すべき筈なるが同社の資本金九百萬圓中前回迄に八百十萬圓の拂込を了し今回の三十萬圓を加へる時は八百四十萬圓の拂込濟みとなり未拂込六十萬圓となる譯なり

●京城醫學講習生見學 京城醫師會講習所生徒五十名は見學旅行の爲來る十月二日夜南大門發し安東へ直行夫れより滿洲視察の後十日平壤へ立寄り十一日歸京すべしと

●醫務科講習生 今回南大門列車區助役正一以下二十一名では、去る二十七日附醫務科講習生を命じたり

●平安中學見學旅行 京都平安中學校職員生徒五十三名は修學旅行の爲廿九日朝釜山出帆午前六時四十分南大門着一日開城二日仁川を見學し三日朝京城より乘車釜山に直行歸校の由

●富山縣觀察團歡迎 富山縣商業會議所會頭木津太郎平氏外十餘名の實業視察團一行の來城を機とし在城富山縣人會主催の下に廿八日午後五時公會堂に於て歡迎會を開催せり

●西大門小學校修學旅行 京城西大門尋常高等小學校職員生徒約百六十名は修學旅行の爲來る十月二日夜南大門發平壤に向ひ四日寺洞を觀察同夜行にて歸校すべし

湖南行【20】
三笑生

排水工事施設の急

全州では、農況觀察が、水害觀察になつてしまつた。亥角知事は全北郡の水害と聞くや水の減退するを俟つて、水害地慰問視察に往かれたことを聞いたので早速道廳に訪問して、其狀況を聞くことにした。亥角知事の一行は、自動車で裡里に出で、裡里から舟に乘つて、大場村を中心として、水害各地を慰問したのである。斯かる場合には、知事の慰問を受けた被害者では、蓋し想像も及ばぬものがあつたであらう。

全北の平野なる沃土は朝鮮には少いのであるが、毎年多少の水害を蒙ることが缺點である、昔は水害と旱害と兩方とも受けた處であつたが、水利組合の出來てからは、旱害は全く[illegible]ることになつた。雨の少い朝鮮には、水が一番大切と云はれてゐるが全北平野だけは余り其の心配はなくなつた、排水に就ては今日まで何等施行がはれてゐない。然し斯く毎年水害を蒙るやうでは、國家經濟の上にも、多大の損害であるから排水工事急設の聲が近時著しく高まつて來たのである。道廳にては、夙に其の必要を感じ、設計も既に出來上つてゐるけれども、巨額の經費を要する爲め、急に實現しないらしい。然し全北平野には岩崎の東山農場を始めとして、大地主が蟠居してゐることであるから、此等の地主が協結して先づ其の方策を樹て、而して後當局との諒解を得て、官民一致、此業の進行を圖らば決して不可能の問題ではないやうにも思はれる。大地主諸君の奮發があつて欲しいのだ

知事に隨行して、水害地を視察した、八谷道農務課長の談によれば、水害地は、大場村を中心として、益山、全州、金堤の三郡に跨り、約四千町步位の測定である。假りに三割の減收とすれば、千二百町步と云ふものが、收穫皆無になる理窟であるから、決して等閑に附すべき問題ではない。排水工事の急設を叫ぶのも決して無理ではないと思はれる。亥角知事は、轉任匆々管內視察を遂げ、殊に井邑扶安地方巡視の時などは、一日の行程三十三四里に及び地方民[illegible]

茶話

島津日新公の以呂波歌は有名なもので、歌として價値の高い見事なものであるが其內容は武士道の觀念を示して格調あつて、鹿兒島では修身上の教訓として理想の教育を行り拔つてゐる▲東郷大將に揮毫をお願ひしたのは以呂波の最初の二首で「古への道を聞きても唱へても我が行ひにせずば甲斐なし」▲「樓の上[illegible]人の心にこそは[illegible]」といふのである、然かし此の二首は今も猶ほ鹿兒島師範の講堂に懸つてゐることゝ思ふ▲私は大將の筆をお願ひに出た序に大將の教育意見を伺つた、大將は自分は教育には素人であるからと辭退せられたが、强ひてお伺ひすると漸く口を開いて、學校は規則を嚴重にして良い教師を揃へて置けば、人物はおのづから其間に生じます、と答へられた▲其當時私は頗る平凡な意見であると深く心にも留めなかつた▲其頃は文部省で優良校長の表彰なぞを盛んにやつてゐた時分で、學校では樣々な施設を競爭のやうに遣つてゐた。こんな時期の五六年の間に過ぎ去つて見ると[illegible]の施設では人間の教育は出來ないことが分つて來た今更ながら大將の卓見に[illegible]思はれる。

人事消息

▲內村安太郎氏（平壤慈惠醫院長）二十七日夜入城浦屋旅館へ
▲佐々木正太氏（全南內務部長）二十八日朝退城
▲蒲田茂丸氏（京城神社宮司）二十七日夜入城天眞樓へ
▲島田瑞穗氏（同神官）同上
▲藍原誠一氏（新潟縣技師）二十七日夜入城巴城館へ
▲山田昌壽氏（大阪合名重役）二十八日朝入城京城ホテルへ
▲石塚英藏氏（東拓總裁）二十七日の兩日釜山に滯在中なりしが二十九日午前九時三十分南大門發特急列車にて歸東の途に就く
▲岩井長三郎氏（土木部建築課長）二十八日朝出發外遊の途に就く
▲三井榮長氏（總督府技師）十四日間の豫定を以て二十八日朝出發咸鏡北道へ出張せり
▲久保要藏氏（京管局長）は事務打合せの爲二十八日夜出發大連へ向ひたるが來る十月五六日頃歸任すべし
▲中野修氏（滿鐵平壤工務部長）滯城中の處二十八日退城
▲馬野精一氏（慶南警務部長）二十八日朝新羅丸より上陸直に十時にて北行
▲赤池濃氏（警務局長）七日夜來釜大池旅館に滯在中の所前列車にて同行歸城せり
▲中村竹藏氏（大邱高等法院長）日來滯釜中なりしが二十八日列車にて歸任
▲李完用侯二十七日夜釜山ホテルに滯在中
▲中內松次氏（土佐紙會社取締役）二十七日朝入城山本旅館へ
▲桐田榮氏（滿洲憲兵隊長）二十七日夜入城同上
▲柵瀨信平氏（同醫官）同上
▲上村直親氏（大邱慈惠院長）二十八日朝入城朝鮮ホテルへ
▲森[illegible]平氏（大連實業家）同上
▲門田新松氏（大連實業家）同上

東京通信

現內閣の新方針
朝鮮の國防新計畫は
內地義務教育費整理の上

現內閣は義務教育費の整理を目論み、而して教育行政調査會を組織し徐來審議を重ねつゝあるが原首相の目算は之より一千五百萬圓を節約し此財源を以て國防費に振り向けんとするものなり而して義務教育費より一千五百萬圓を節約するには小學教育の大部分を二部制となす計劃なるが如し勿論此方法は何ほ秘密中にあれども原首相は既に此事を軍事當局に對して約束をなしたりとのことなり然らば國防費は如何なる方面に使用するかと云ふに是れは西伯利亞撤兵の實行遠からざる爲め朝鮮北部方面の防備の薄弱を生ずることゝなり現在にても對岸支那方面には馬賊及び不逞鮮人の跳梁を見る有樣なるに更に將來齊多政府との關係をも顧慮する時は是非とも此方面の國防を一層完備せざるべからず此の見解より原首相は茲に朝鮮國境の防備の爲め約一千五百萬圓を使用し師團增設を[illegible]べしとのことなり（東京支局）

剰錢を胡麻化す外人

[illegible]を出したれば店主は九十七圓二十錢の剰錢を渡したるに、右外人は小錢があると[illegible]圓[illegible]に追及したが行方不明[illegible]つた處が翌廿四日右外人[illegible]店先[illegible]セフヤザイ（三）[illegible]にて係官の前に[illegible]

[illegible]欄干に兩手を以てブラ下り將に初めて水流に投身せんとする鮮人男あり[illegible]

日出 六時二十[illegible]分 日入 五時[illegible]
廿六日 最高溫度二十一[illegible] 最低溫度[illegible]
廿七日 最高溫度[illegible] 最低溫度[illegible]
[illegible]朝低氣壓は坂神沖及[illegible]關東州に於て徐々に北東に進行しつゝあり爲めに中部以北の[illegible]降雨あり北部[illegible]

德津池畔　一等入選　國分義雄氏

全滅に近い鐵の都
本溪湖製鐵の大淘汰
馘首された者二千六百名

【本溪湖】財界の大恐慌が來たので各地の製鐵事業は空前の一大打擊を受けたが安奉線の鐵の都と誇つて居た本溪湖も其例に漏れず約一年有半に亘つて四回の整理淘汰を行つたが亦々最近第五回目の

一大整理斷行　と同時に社員支那人千數百名の馘首を行つたが更に近い內に第六回の大馘首を斷行する事であらうとの噂があり公司員たると市民たるとを問はず、戰々兢々として殆ど仕事も手に着かぬ有樣である今其の淘汰前後の模樣を聞くに漢陽公司は鐵の生產より來る損害は非常に莫大である爲に本月十五日與り熔鑛爐の吹き卸しと同時に

熔鑛爐の火を消して　仕まつた是より先き先月三十一日より低燐銑鐵の製造に着手した普通の銑鐵は廉張り賣れない賣れるとしても其の市價は生產費の半額にも當らない故に他に活路を開く意味に於て低燐銑の製造に着目したのであるが、低燐銑は重器材料として需用があるので相當高價に陸海軍が買つて呉れる日本に於ては低燐銑を製造する處は廣島縣下に於て

大倉組の經營　にかゝる山陽製鐵所があるのみである是は普通木炭を燃料として製造するのであるけれども本溪湖の煤鐵公司では優良のコークスが製造せらるゝので此のコークスを燃料として製造しつゝあり東洋特殊鋼と稱せられる優良の低燐銑が出來つゝあつたのであるから一般の公司員や市民も此の曉によつて本溪湖の鐵の都は再び

復活の曙光を　見るであらうと豫想したのであるが突然九月十四日午前八時半晴天の霹靂の如く熔鐵爐中止、コークス製造三分の二減、晝夜勤務の夜勤廢止、坑務課は出炭を一ヶ年二十萬噸に減少就業員三分の一減員と云ふ最も悲痛なる宣言が明示せられたのであつた、斯くて各公司員は呆然唖然として居る內に

職員の日本人側　六人、支那人二十六名、準備員日本人五十名、同支那人三十名、苦力二千五百名の大淘汰が發表せられた、是が若し內地での出來事なれば相當騷動も起るのであらうけれども悲痛悽慘の氣に包まれながらも何等不穩の行動に出でなかつた事は非常の幸ひである、此の馘首せられた者の中には蓄財のないものもある

妻は病床に臥し　子は饑に泣かん許りのものもあり又は妻に死なれて老人や子供を抱いたものもある斯くの如く失職の群は果して何處を見當に放浪の旅に上るのであらうかを思はしむる（本溪湖より一記者）

高普設立計畫

【公州】忠淸南道に於ては昨年來高等普通學校急設の要を認め總督府に請願する筈にて內鮮より夫々委員を選定し大に運動をなす筈なりしも總督府に於ても經費の都合上到底急に許可せらるべき見込立たざるより本府に向ひ請願運動を中止し此際道內有志の寄附金を以て私立高等普通學校を設立するの議ありて各郡より委員を出し近くに公州に於て協議會を開くことに決定し居れりと因に公州を始め鳥致院洪州に於ても有力者の寄附金申込み續々これある由なれば右設立費用の如きは左程困難を感ぜざるべし

滿洲木炭の輸出
內地仕向は有望である

【大連】南滿洲鐵道沿線を汽車に乘廻つて見ると大概到る所の山と云ふ山は見渡す限り坊主山で樹木は殆ど皆無と云つて宜い位だが流石に廣い滿洲の事とて安奉線橋頭附近を中心として生產する木炭は所謂

安奉線木炭　として聞え大連市內にも需用せられ殊に一昨年頃財界好況時代製鐵所の設置された頃には同方面に於て木炭の買占めが行はれた程で其生產は遽に增加し木炭株式會社なども設立せられた程である然るに生產に伴ふ需要は財界の變動と共に激減を示して全く生產過剩に陷つたのであつたが

日本內地　に於ける木炭の缺乏は自然其の價格を騰貴せしめた結果高率なる運賃を負擔するとしても比較的其の生產費の低率にある安奉線木炭の內地輸出は頗る可能と見られて居たが最近に到つて愈內地輸出の途が開かれ一萬俵の手合せが出來た輸送は安東から補助機關附帆船又は

汽船便で　釜山に運ばれそれから更に內地へ仕向けられて居るやうであるが安奉線木炭は其の生產費の低率であるばかりでなく炭質も決して劣等なものでなく特種工業用を除き一般需途は廣汎であるから內地木炭の依然高騰を持續して居る限り其の輸出は益增加するものと豫想されて居る

商品信託生れん
大連取引所の補助機關

【大連】大連商業株式取引所の補助機關として信託會社は既に創立せられたるが商品部は取引の振はざる結果信託の必用薄きためその發現を見ざりしが頃日來有志間に寄々

創立の議　ありたるが以外に進捗を告げ來月十日頃までには株式募集の手順まで運びたる由今日財界の現況は事業的の企業を許さず手取早く勝負が出來て併も間違ひなき儲けのあるものが歡迎せらるゝ風を生じ取引所とかその信託會社とか乃至は競馬會社などが人氣ものとなつた時に當取引所の

株式信用　が色々の事情の許に二三萬位しか浮動せぬ關係から實株の不足を告ぐるため商信を作つて之を補ふ策戰らしいそれかあらぬか商信は現在でこそ目覺しい取引はないが將來は當地の事情から推論して株信以上有望なり株信は現在に於て九十圓臺を維持し數週前は遙に百圓臺を突破せる

高値を出　しそれは商信と雖も優に一割以上の配當の出來ることは今日迄の成績に徵しても明白なれば募集の曉は一躍四五十圓の價値あるべしと煽て揚げつゝあり果して然るか否やを知らざるも二三十圓程度のプレミヤは附く狀勢なり因に同社長は曾て錢鈔信託株式會社長たりし神鳥常吉氏ならんとの噂なり

立候補者續出
元山商議選擧

【元山】元山商業會議所にては十月一日午前九時より評議員改選執行の筈なるが立候補宣言者既に定員に達し今後期日の切迫と共に續々立候補を見るべき形勢にあり立候補者の一部は二十五日公開演說會を催せり

期日愈々切迫
地方委員選擧

【安東縣】安東地方事務所管內の地方委員及び豫備委員各八名の選擧は來る十月一日午前八時より午後四時までの間に於て山下町滿鐵幼兒運動場に於て擧行せらるべく又鷄冠山に於ては十月三日午前八時より同四時迄の間に於て擧行せらるゝ事に決定したり

平南稻作減收

【平壤】平安南道に於ける本年の稻作豫想高を聞くに水稻五十三萬百五十七石にして之を前年の實收高に對比し七分二厘の減收なり而て陸稻は前年の實收三萬四千石に對し約半作の見込みなりと本年は八月以降旱天續きにて殊に結實期に於ける旱魃地方は平均約二割減見當なるが數日前より豪雨降り續き之等農作の被害尠からざるものゝ如く從つて一層の減收を見るに至らんとて一般農家は殊の外杞憂を抱きつゝあるが總括して前記豫想高と大差なかるべき見込なりと

鴨綠江上流視察記（三）　古志狒郎
悲しい戀の犧牲者

▲戀の犧牲者石川はなは、或は犧牲者であつたかも知れぬ、彼か南山町の松葉で、時松と名乘つて時めいた頃寺內總督を始め兒玉副總督、山縣少將、宇佐美長官などに知遇を受けた、彼は其の放埒な資を以て酒に慰安を求めて居た、酒と勝氣とに依つて彼は名を得た、名流の宴席には必ず彼は聘ばれた

▲彼は純粹の江戶ッ兒で所謂鯔の脈い女であつた、斯く名流に知遇を得た結果、彼の氣位も從つて高くなつて來た、元來が勝氣な女であるから、酒が少し廻ると眼中人なしであつた、それが又興を惹いてお座敷も可なり忙しかつた、それだけ又彼の失敗は多かつた、彼が遊屋を開いて失敗したのも、安東縣へ移つたのも、中江鎭で春奴と云つて筏乘夫對手の藝妓として顯はれたのも皆彼自らが招いた運命である、彼が中江鎭の生活は彼をして自暴自棄に陷らしめたに違ひない、

▲彼が中山警部補と情死するに到つたは、單に戀のみではなかつた彼は自暴自棄の結果樓主と甚だ折合が惡かつた彼は何とかして二千圓の借金を返濟して自由になりたいとそれに心を碎いた、流轉を重ねた彼、全盛の時とは違つて二千圓の桎梏は彼として解く術もなかつた、焦りに焦つて酒に親しみを重ね樓主の壓迫は次第に酷くなつた、加ふるに彼は病弱の身を持つて到底極寒の地に生活するに堪へられぬことを自覺して居た

▲中山警部補も稍之に似た境遇に在つたのである、互に其の薄命を閑燈影闇き所に嘆きあつたは幾夜であらう、彼は又遊蕩の爲め少からぬ負債を生じ或料亭の樓主から重大な侮辱を受けた事もある、勿論上司の氣受も良くはなかつた此等が彼等兩人意氣投合せしめたのであらう

▲併し春奴が鴨綠江上流に於て斯く慘めな境遇に在ることを當時東京に居た、時松時代贔屓にしてゐた顯官達が知つて、二千圓で自由になるなら二三人相談の上東京に呼むでやらうと、密かに計畫中であつたとか、然し其報が春奴の耳に入らぬ中、彼れは死を決行したのである、其れは滿四五日のことであつた。

▲中江鎭の花柳界は此のローマンスを語り草にして、益發展を遂げて居る、近頃東京から來た都香と稱する藝妓は以前中江鎭に居たのを或る人が落籍して、三年あまり宿の妻としたのであるが或事情で別れて再び褄を取る事となつた、否筏乘夫に媚を賣る事となつた、縹緻も可、藝も達者、年齡も二十歲と云ふ女盛り。再び以前の旦那が落籍さすと云ふ噂が高い。

▲元來中江鎭と云ふは內地人の呼ぶ通稱で、沙田坪、洞口里と云ふが行政上の名稱である、沙田坪は營林廠支廠及郵便局、警察署、憲兵分隊、測候所等が在つて、內地人の多くは此の沙田坪に住むで居る、洞口里は沙田坪より約一里下流でこれは鮮人部落で、舊來の市街である市場も茲で開かれる昔時は此地に支那地と連絡する石橋が架せられて居たと傳へられて居る、今は戶數三百戶金融組合は此の地に在る

▲此處から約十五町江岸を離れて守備隊の兵舍がある、餘りに市街から離れて居るので軍隊としても不便であり、一朝有事の際、內地人の集團部落たる沙田坪に約一里半の距離を有する故、萬一電話線でも切斷されゝば守備の目的が達せられぬ、依つて沙田坪に於て適當な敷地を寄附する故、同地に移轉して欲しいとは內地人多數の希望である、軍當局に於ても此希望を容るべく目下評議中であると噂されて居る

米穀改良施設
改良調製組合組織

【平澤】米穀の改良調製に就ては京畿道當局に於ても十ヶ年以來極力指導獎勵する處あり、就中平澤附近は鮮內有數の集散地たる關係上特に意を用ゆること深甚なりし爲め、各商人間に於ても周到の注意を拂ひ之が聲價の昂上を計る等獎勵の趣旨徹底したるも、郡內各地に散在せる農家其他の糶糴を爲すもの四十二戶の多きに達し之等の從業者中には往々乾燥不充分なるものあり其他遺憾の點あるを以て、今回振威郡當局に於ては同郡米穀改良調製組合を組織し、各面巡回技手を任命し當地方篤農家に依囑して改良調製に關する指導獎勵をなさしめ傍ら講話を爲す等一層改良の趣旨を徹底せしめ漸次隣接郡へも及ぼす計畫なりと

道路改修進捗

【平壤】平壤府岸船橋里驛より航空隊に通ずる約六百間に亘る道路改修工事は着々進捗し目下五分通り竣工せるが中間二箇所の橋梁は橋脚を鐵筋コンクリートとし上部の構造は木造にて半永久的のものなりと因に十月末日までに完成すべしと

獵期迫る
＝仁川附近の獵場＝
今年は獵物が多い

【仁川】十月一日を以て獵期が開く、もう數日の後待ちに待ち構へた火蓋は切らるゝのである今年は狩獵出願者も景氣がよく廿六日迄に

仁川署　で受付けた數が既に七十餘名に達して居る盛況、火藥類も去年に比すると一二割は安く樂ら手も多いと來て居るが扨て肝腎の獲物は什うか其道の人の話では雉の發育最も好く到る處に群生して居ると喜んで居る仁川附近の

獵場こ　しては陸に富平の野があり海路江華島や靈興島など有名な場所を持つて居るが何れも冬が迫りてから雁を迎へる頃の事で獵期開けの第一發は何を云つても瀧來る潟の鴫獵である。もう間もなく鴨も來るがそれ迄は仁川の港を海岸に沿うて廻り行く

干潟地　に降り立つ鴫を追ふのに興味は注がれる朱安入江も可なれば永宗の島が根も良も好く時には島の松林には山鳩の一群も相應に飛來して居るとの情報が頻りである

藝妓仲居の見學
釜山郵便局へ……

釜山郵便局にては二十六日釜山券番の藝妓仲居九十餘名に對し電話交換實況と電信郵便其他交換手の活花、裁縫、割烹等を觀覽せしめた後午後一時頃から十八二十人一團となつて局內に運ばれ係員說明に耳を傾け交換手の忙しい技に驚きの目を睜つた藝妓と交換手…此日の局內は常に見られぬ異彩を放ち珍らしいコントラストであつた（釜山）

金融組合狀況

【公州】忠淸南道金融組合の八月末に於て金融狀況は左の如し
一、金融組合總數三三、內市街地四、村落二九
二九二四四、付貸高二、五四四二一九五四三、市街地手形割引三〇九、三九一圓四、預金二二三四、六六九四五、借入金一四八三、九八八四圓六銭餘貸付一〇四七、一八九圓
尙は本年度內に新設準備中に屬する者一即ち瑞城金融組合なり

平南造林打合會

【平壤】平安南道にては造林獎勵の爲め來る十月三日平原郡廳に於て同郡管內百町步以上の貸付造林業者を召集し協議會を開催し造林上の協議打合せをなすべしと尙當日は道廳より丸山技手出張の筈

興味ある野外撮影
國分氏が一等に當選した

【全州】既報の如く我社全州支局主催に係る秋季野外撮影會は二十三日秋季皇靈祭をトして行つた參加者十數名は午前十時半の列車で德津池畔に集合し更け行く秋の德津を思ひ思ひにレンズに納め二十五日は午後一時より全北輕鐵本社に於て印畫の展覽會を催した出品は會員の互選とし左の通り入賞者を決定した

▲一等（四十一點）國分茂雄君▲二等（三十點）同人▲三等（十九點）吉岡左太君▲番外一等（十八點）平野晃君▲二等（十六點）同人▲三等（十五點）吉岡左太君の諸氏入選其他（十三點）西山一男君（同）河本氏（十一點）同人（九點）曉天（七點）江澤の諸氏は選外佳作

當日は全州寫眞同好者を一丸として光雅會てふ名の下に寫眞會の成立を見るに至つた十月の當番幹事は西本曉天、常題は晩秋二十五日までに京日支局まで印

急設電話架設期

【新義州】新義州郵便局に於ける本年度急設の申込み受付は約百六十口の多數に達するも本年の架設豫定數は約八十に過ぎざるを以てなるべく公平を期する爲め抽籤によるの外なかるべく其の架設期は本年十一月下旬又は十二月初旬に入るべきかと

鎭江山の入佛式

【安東縣】新築工事中なる鎭江山臨濟寺の本堂新築工事も漸く如く着々進捗中なるを以て來月十七日頃盛大なる入佛式を擧行すべく目下其の準備中なりと

軍人分會射擊會

【平壤】在鄉軍人會平壤分會にては來る十月二日第一日曜日を期し步兵第七十七聯隊射擊場に於て第二十二回定期總會を兼ね秋季射擊會を施行すべしと

◎速成助產婦と看護婦（平壤）平壤慈惠醫院では別項廣告の通り速成助產婦科生徒五名看護婦科生徒二十名募集中であるが速成助產婦は產後江西、平原兩郡に配置する方針なりと尙來年度に於ても引續き養成して助產婦の充實を圖るといふ

◎教員養成所修學旅行（公州）忠南道教員養成所に於ては左記の日割を以て修學旅行すべく出發せり生徒三十一名にして引率者は主任講師幸田幸吉氏なり
▲九月二十五日公州出發▲二十六日二十七日京城▲二十八日仁川▲二十九日水原▲三十日歸校

◎鐵道校生徒見學（平壤）龍山鐵道學校職員生徒九十一名は二十七日午前五時十八分着列車にて來壤兵器製造所其他を視察し同日午後零時四十七分發列車にて出發黃州兼二浦を視察し歸校の途に就けり

◎秋季俳句大會　安東木念吟社主催にて來る十月二日正午より五番通二丁目本社支局樓上に於て秋季俳句大會を開催する筈に付安東新義州間の同好者は奮つて參會せられたしと因みに會費金二十錢兼題雁來紅二句宛當日持參の高點者には一二三等とも賞品あるべしと（安東縣）

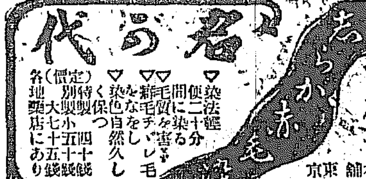
ゴシップ

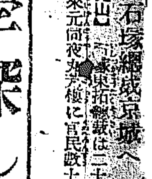
【鎭南浦】鎭南浦法院支廳判事依田弘君は評判の碁客であるが鎭南浦材木商會主原田音市君も亦恐ろしい碁好きで碁狂人とまで言はれてる▲原田君が嘗て或土曜日の夕方依田君の宅を訪ひ如何な遠こて直に碁を始めたさうだ處が却々勝敗が定まらない▲さうかうしてる內に遂に徹宵してしまつたけれども容易に止めないごう〱日曜日一日打續けて同夜も亦夜を明かした▲月曜日の朝となつて電氣が消へたのを夕方と間違へて電燈會社へ既に電話を掛けて小言をいふ處であつたが家族に注意されて漸く氣が付き御互に顏見合せて一體今日は何日だ……

[illegible]如く地の外國に[illegible]半年度中に開校すべきもの六校に[illegible]面にして現在の學校數は五十[illegible]
大正二年[illegible]
大正三年　三〇四　四八二
大正四年　三九　六五〇九
[illegible]く減少せるは騷擾事件の影響に依る[illegible]
[illegible]日前より滿洲館に於て日本國講局長へ新任の挨拶を爲し[illegible]
[illegible]石塚總督京城へ[illegible]ウ將軍一行動靜[illegible]青年會總會開催[illegible]

貴金屬　時計
京城本町一丁目　電話本四一七　振替京城三一九一〇　木村時計店

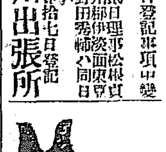
胃腸にゴルフを
美味爽快の
見よ！其眞價を！
惡疫豫防に、過飲、過食に消化不良に、胃腸の持藥に
各地藥店にあり
定價　廿五錢　七十錢　一圓　一圓八十錢
東京南町　東亞製藥株式會社　振替東京二七五七七番


名らぞ代
▽染法簡便二十分間に染る
▽毛質を害さず毛がチヾレ毛にならぬ
▽染色自然久しく保つ
價（定）特製四十錢　大七十五錢　別製小五十錢　各地藥店にあり
本舖　東京　山吉商店


字探し募集
▲右の繪の中に假名文字五字隱しあり之を探れば一つの品名となる何でしやう當て見て下さい
▲當つた方一千名に今回宣傳發表中の最も完全せる都式
ゴム裏草履　千足　提供
金指輪　千個　提供
▲商品景品として永久不變色の
▲わかつた方は向ふ十日間にハガキで當商會宛御通知ください
▲正解者には提供方法通知す
東京本所區長岡町四五　都商會宣傳係

白色美の秘訣
貴女は……キット美人になる！
美乳
の一滴の力を信じなさい是非家庭用になさい！
お嬢様の學生時代、これが美人になれませうかと案じられそれ程お色の白くない學生時代……併しそれは少しも御心配は要りません、日本に初めて出來た美乳を家庭用とし朝夕洗面のあと湯上りに必ず一滴づゝお塗けなさい、そのよい習慣はキット生地からの色の白さ美しさを發揮させずに置きません空前の白色料は本品!!!
家庭用に…美乳！盛裝の時…美乳白粉を！
(150)

一、漣川金融組合登記事項中變更
理事松根眞太郎八月拾日辭任シ楊州郡伊淡面東豆川里貳〇參番地野田秀輔ハ同日理事ニ就任ス
右大正拾年九月貳拾七日登記
京城地方法院漣川出張所


最高級
A.Y.E.P
品質保證
總ゴム靴販賣店募集
生產無限
東京本所區原庭町十三　青木ゴム製作所

牧野沃度朝鮮支部設置
今般左記に朝鮮支部開設致候に付此段廣告候也
大正十年九月
私立大日本牧野沃度研究所
關西支部長　牧野民藏
（京城府明治町二丁目八十二番地支那領事館裏）
私立大日本牧野沃度研究所朝鮮支部
附屬　朝鮮沃度診療所
製藥朝鮮總特約店

ニッポノホン
鷲印レコード
九月新譜發賣　目錄御申越次第送品
朝鮮京城本町二丁目　株式會社日本蓄音器商會　電話一一八三番

婦人講壇

街頭より家庭に還れ 乏しき文化費

エンゲルの立てた法則 消費組合の進歩と婦人の力 『高野法學博士講話』

家庭經濟を立て直して行くには先づ生計費の根本原則をしつかり掴んでから進まねばならぬ、生計費の研究と云へばすぐ引合に出る學者は獨逸の經濟學者エンゲル氏である彼は千八百五十七年に精しい勞働者と中産階級と上流階級の三階級に亘つて家計調査を試みた其の結果によると

	勞働者	中産者	上流
飲食費	六二	五五	五〇
衣服費	一六	一八	一八
住居費	一二	一二	一二
燃料費	〇五	〇五	〇五
(其の他費く)			
合計	九五	九〇	八五
生計費以外の分は	〇五	一〇	一五

と云ふ比例になつてゐる如何に現代の文明生活が必然的な生計費に其の收入の殆ど全部を費して

寸分の餘裕

のないことが一目瞭然だ、文化費として遺されるものは勞働者は俸給の五分高い俸給者で僅に一割五分二百圓の月給取で二十圓しかない譯で乃でエンゲル氏は「貧しければ貧しい程、生計費特に食糧費に多くを投ず」と云ふ法則を生み出した近に獨逸が千九百〇七年に全國に亘る其本家庭九百許りの家計調査を調査した結果に使つても上流で必然的の生計費が八二、三で文化費として一、七七殘り中流は生計費に八、五を與し、殘る文化費は一、五下流は生計費が八、六一で文化費を除すこと僅に一、三九であるエンゲルの調査した昔時よりは餘裕費の文化費が多少多く浮かんでゐるがエンゲルの打立てた法則は依然として變りは無い私が大正五年に於ける

東京月島の

職工の二十家族の生計の調査をした其結果に依ると(單位は百にして)

飲食物	米代	衣服
四二、四二	一、八七	七、五〇
住宅	薪炭	
一七、五六	六、二四	

から出て來た獨逸の實例によるのとは全然趣きを異にしてゐるが生計費に七十二割大分二厘即ち四分の三の費用を投じ其の中の約大半が飲食費であることが判るこれエンゲルの家計費に對する原則が依然事實であることを證するに足るものだ、乃で家庭經濟を變へんとするには先づ日用品の消費中にも食糧品の消費に就て周到な婦人の注意と研究を俟たなければ本當に解決することは出來ないこの意味から婦人が團結して日用品を廉く買に得る爲に消費組合の進歩を圖ることが急務であると云へる而して現在の日本の事情ではこの現金制度を常とする消費組合發達の爲に月給を週給に變更することが重要である(終り)

十一月に京城郵便局で各局所聯合通信競技會

京城郵便局分掌區域各局所聯合通信競技會は愈十一月六、七の兩日官民多數を招待し京城本局で盛大に擧行する事に決し殊に今回は初めての試みとして全鮮各局所選手競技會も七日に行はれる事とて從業員は實務につき猛烈なる練習をつゞけて居る競技種目は

小包引受、電信、和文譯文送信、電報受信、貯金預入、郵便配達區分、爲替振出及び貯金計算、郵便大行嚢封緘結括、電話交換、紙幣計算、電信電話工事、切手賣捌、郵便爲替人道國組立等廿八種で

此競技に參加する人員は約八百名である七日の全鮮各局所から選出した選手は合計二十八名で何れも一粒選りであるから當日は火花を散らす激戰を演ずであらう

京城郵便局の貯金者は月給生活者が多い

本年三月から五月まで三箇月に於ける京城府內の貯金現在高は左の通で漸次增加を示してゐる

	人員	金額(單位圓)
△內地人		
三月	三六、一三六人	二、二三五、六八〇
四月	三六、三四九人	二、二二六、九五一
五月	三六、七三六人	二、二四五、四七二
△朝鮮人		
三月	四〇、六〇一人	一二三、四〇四
四月	三一、三〇七人	一三九、〇〇六
五月	三六、七二六人	一四三、一二三

即ち一人當りの貯金

額は內地人四十圓、鮮人三圓となつてゐる內鮮人の貯金額に斯くの如き差額のあるのは、第一生活の程度が異るのと內地人は貯金思想が鮮人に比して發達し殊に故山を遠く離れて異郷の空で生活して居ると不時に

金錢の必要

に迫られて困窮する事が少くないので其時の用意と歸郷する際に錦を飾るために月給生活者などの貯金が多い、鮮人の方は貯金思想が幼稚で自發的に貯金する者は極めて稀で大部分は奬勵されて餘儀なく預金したのであるから直に拂下げて了ふ從つて

頭數だけは

多いが貯金額は少い所以である、然し全鮮の貯金平均額一人當り內地人二十圓、鮮人十五錢に較べると京城は生活程度の高い丈け鮮人の貯金額も他より多い、府內の各郵便局所に就て預金高を見ると鮮人の預金は光化門局が第一位で本局、龍山局が之に亞ぎ內地人は本局に預ける者が多くそれに亞いで龍山黃金町通りと云ふ順序である。

講演に會務に御前講義に追れる

精力絶倫の驚くべき健康の所有者下田歌子

愛國婦人會發行所長 竹內貞二氏談

愛國婦人會發行所長竹內貞二氏の曰く、下田先生の精力の絶倫なのには驚く外はありません、この夏なども私達は皆んな避暑休養して居るのに先生は一日もお休みにならないさうして

廣島

を中心にして各地の講演にかゝられる、それが濟むと八月末から北海道の樺太方面を廻られ十五日間に亘つて十一回の講演をせられ最後の大泊りの如きはプログラム以外に二時間の講演を乞はるゝまゝに二時間餘もされた爲めに旅館に歸つて食事を取る暇もなく僅に汽船の

出帆

に間に合つた位で實にお伴をして參つた若々が其の過激な御活動にハラハラする位でありました歸ると直其の足で日光に赴き皇居陛下の御機嫌を奉伺し即日夜に入つて歸り翌日早朝から會務を見られると云ふ風です、先生は繁劇な學校の事務を見られるばかりでなく一週間三回づゝ

朝香

宮、北白川宮、竹田宮各宮邸の御講議にも上られるのです、又澁谷のお宅の方でも毎日二三十人からの來客に接して居られます、先生は御覽の通り却々御達者で見た處からして若々しいから從つて精力も壯者を凌ぐ程です、六十六歲と聞いて誰も驚かぬ人はありません、先日も樺太へ參る前血壓の試驗をされたら四十歲前後の健康の婦人と

同樣

な血壓を持つて居ると云はれたと云つて悅んで居られました、從つて却々健啖で壯年の男の方でも及ばぬ位に召上られます、たゞ時々持病の喘息の起るのには先生始め一同困つて居ります。我愛國婦人會は先生を得て全く名實共に

最善

の會長を戴く事になりまして將來會の發展と事業の實績を期して疾つ事が能きます。今回朝鮮の巡回講演は先生も非常に御興味を持つて居られる事でありますから必ず各方面の婦人社會の御期待に背かぬ事と信じます、先生は新思想の一派一潮に就ても多大の

注意

を拂つて居られるので新しき人達若い婦人達に對しても細心な理解を持つて居られます、今回京城の新しい婦人達の自揚會から講演のお申込がありましたがそれ等の若い人達の期待にも充分滿足の解決を下される事と思ひます(東京支局)

朝鮮では時間の許す限り團體の講演に應ずる

愛國婦人會第二部長 舟木三二一氏談

下田歌子刀自の渡鮮に就き舟木愛婦第二部長の曰く一行は十月一日東京發二十日に東京に歸着する事には成つて居りますが朝鮮及滿洲の方の日程は未だ確實に定まつては居りません

滿洲

の方は安東縣、奉天大連、旅順に參り旅順より引返し奉天以北へは多分參らぬ樣になるかも知れませんが其代り朝鮮にては時間の許す限り各地各團體の要講に應じて講演をなされる筈でありますが精力家でありますし其れに長は御承知の通りの偉大なる

隨所

隨時に問題を把捉して講演せられる講演の草稿なぞは曾て用ひた事が無い位でありますから今回の如きも必ず朝鮮各地に於て有ゆる社會問題婦人問題敎育問題に就て大獅子吼せられ明快なる解決を與へらるゝ事と考へます

一行

は刀自の外に本野子爵母堂長田仲子夫人(故長田秋濤氏未亡人)それに本會發行所長竹田貞三氏と私其他に刀自の侍女との六人であります(東京支局)

警官家族の善行

衆人の規範として表彰 犯人の幼子を哺育す

忠淸南道瑞山警察署管內浮石面駐在所勤務巡查內海清之助氏妻女の善行に關しては、本春三月二十九日所屬警察署長より道に向け報告あり其の後瑞山郡守よりも報告あり尙最近郷一般の讚賞する所となりつゝあるが其の內容左の如し

一、善行者 瑞山警察署浮石面駐在所巡查內海清之助妻 內海とよの 明治三十一年七月八日生

二、善行事實 瑞山郡浮石面察坪里李起學なる者の後妻姓女は先妻の兒女李康姫五年を傷害死に致したる罪により公州地方法院に於て懲役二年の判決を受たりしも當時懷胎中なりし爲其刑の執行を中止され居しか大正九年十月二十八日庶子女康順を分娩し産後一ケ月を經過したる同年十一月二十八日公州監獄へ押送せられたり爾來生兒は李起學の實弟の妻に於て乳を與へ且つをも湯を給し保育し居りしも常に給乳に不足を告げ營養充分ならず漸衰瘠し殆ど屢々なり遂に李起學は赤貧にして何等手育の途なく漸次乳に差支旣に瀕死の狀態に陷りたる此悲痛なる狀況を目擊したる內海巡查の妻女は同情の念措く能はず客十二月二十五日より今日に至るまで自己の乳を與へて幼兒を救助しつゝあり

三、一般部民の感想 前項の事實を知りたる地方有力者は非常に之れを賞揚し郡次部民が聞き傳へ同民族たる鮮人と雖も爲能し難き所なりと大に感動して內海巡查夫婦に對し篤き敬意を拂ひ居れり右に就き本月五日警察部長より其の善行を表彰して左の感狀を附與せり

感狀

瑞山警察署浮石面駐在所勤務 朝鮮總督府道巡查內海清之助妻 內海とよの

右姓女賢淑順素行端正常に警察官の家族として內助の實を擧げつゝあり大正九年十一月廿八日瑞山郡浮石面察坪里李起學の後妻明姓女が傷害致死罪により入監に際し生後僅一ケ月の幼兒康順を殘し置くの止むなきに至れるも其兒起學は素より赤貧にして又他に之れを保育する者なく忽ち其乳に差支へ幼兒の營養充分ならず徹宵啼泣し既に瀕死の狀態にあるを見て同情の念措く能はずして同年十二月二十五日以來自ら被手育者の許に赴き自己の乳を與へ以て今日迄幼兒に哺乳せんことは同民族たる鮮人等に於ても爲能くし難く近郷一般の深く感激せる所にして善行なるのみならず內鮮人の融和上多大の効果ありたることと信ず茲に金壹封を贈呈し篤く感謝の意を表す

大正十年九月五日 忠淸南道警察部長

尙本件に關し今回の總督巡視に際し守局秘書官迄に其の實情を報告せしに其の善行に對し同秘書官よりも金一封を贈呈致度旨申出に付本月十五日本人へ傳達したり

龜の子

藤川淡水

ピカピカピカリ稻光り。
ピカリ光れば龜の子さん。
あわてゝお頭をひきこめる。
あんよこおてゝは大丈夫か。

今日は裡里 (裡里劇場)

淸州は櫻座にて開會定刻既に滿場立錐の餘地無き盛況にてプログラムの進むと共に拍手鳴りも止まず場に溢れたる觀衆は僅一時閉會と共に十二分の滿足を以て退散せり公州は錦江館にて開會生憎の雨にも拘らず又々滿員の盛況誠に愉快に堪へず一行益々勇氣を振ひ今より江景に向ひ申す可く候。江景も例に依つて盛況なるべく豫想致居り申候

五千號記念寫眞各地巡回日割

三十日	全州劇場
十月一日	光州劇場
同 二日	木浦劇場
同 三日	大田劇場
同 四日	大邱劇場
同 五日	釜山國際館
同 六日	馬山丸西座
同 七日	永登浦學校
同 八日	開城開城座
同 九日	平壤劇場
(徹夜二回)	
同 十日	沙里院旭座
同 十一日	鎭南浦劇場
同 十二日	新義州劇場
同 十三日	安東縣劇場

讀書季 シーズン

子供向理科物 婦人向の讀物

もうそろそろ讀書シーズンに入るが婦人と子供向きの物が多く出るといふ三越の書籍雜誌部をのぞいて見ると選擇が他所よりも自由に出來るので幼少年物の前には可愛い孃ちやんがづらりと取ついてあれこれと探してゐる向部の人に聞くと「子供物では科學的

殊に理科的

のものが目立つて澤山出ます豫習物も多いし一般に娛樂的ばかりでなしに諸方面によくよまれてゐます特に氣がつくのは親御さんよりも子供さんの方が一歩進んだ傾向の見える事で理科的のものなどは子供さんが進んで擇ぶ方が多いのです婦人の方では家庭向きのものも娛樂的の文藝物や雜誌抔と比較してさして劣ると思はれません

一般に婦人

の讀書力も進んで來たのに驚かずにはゐられない位で若い女の方々が男の方にも一寸むづかしく思はれる程の哲學物等をずんずん求めてゆかれます文藝物でもかなり新進の人々の物で通俗的にいへばそんなに興味のなさうなものが隨分捌けます家庭的の物には需要を十分にみたし得る良書がなくて困ります若い方々の爲にも今少し新人が良書を供給して頂きたいと思ひます」

聖書研究會

ウイリアム、シー、ケール氏の主催

府內內資洞七五番地日本基督敎會の宣敎師ウイリアム、シー、ケール氏は動もすれば從來の宣敎師が其本分を越ゆる論議の種となる嫌あるを慨し眞の聖書の研究に努めんとする宗敎家たる本分を缺くに依るものとし昨二十七日午後三時より會堂にて聖書の講義をなせるが爾來毎週火曜日に聖書研究會を催すべしと

行く處なく離婚の訴訟

金浦郡黔丹州面不老里梁正山妻金稲子は廿八日夫正山を相手取つて離婚の訴へを京城地方法院に提出したが其の理由は明治四十二年三月夫婦となつて同棲し大正元年頃迄は何事も無かつたが其後他に女を迎いて外泊する許りか追出す目的で爾來生活費も出さず其の上虐待甚だしく去る八月失火自宅全燒の悲境に陷り今は行く處も無い始末なのに夫は更に改悛の色なく酒色に耽溺し少しも顧みてくれないから本訴に及ぶといふのである

京管局巡回文庫

京管局にては沿線在住者の爲めに從前社友會に於て巡回文庫を廻付し居りたるも今般之を滿鐵京城圖書館にて來る十二月一日より新なる施設の下に之を行ふことになれり

見もの聞きもの

黃金館 二十九日より實寫「スケート大會の實況」一千尺新派「俠骨」八百呎新派喜劇「水戶黃門無錢漫遊記」全七卷連續大冒險「星の魂」第三篇第四篇新派悲劇「心の影」全五卷

浪花座 尾上菊十郎市川延十郎合同大一座四番目狂言は前狂言伊賀水月中狂言菅原四段目切狂言碁盤山姥

上海假政府凋落

[illegible]六日三十歲を一期として永眠せり同人は別名尹右山と稱し慶尙南道梁山郡の生にして夙に東京に留學し去大正八年[illegible]日の[illegible]

一船毎に殖る來朝野球團

[illegible]のメキシコ丸で來朝する該チームはシャーマン・インディアン(三十六)イ・ベンソン(十九歲)[illegible](二十三)[illegible]選手、投手は三名でゼオリバ[illegible]歲)强打手、三塁ヴイ、カスタ[illegible]エス・カラツク[illegible]チーム[illegible]

[illegible]哇のチームとヒロの野球團も同船して居るといふ噂である是等が來朝すると目下滯在中[illegible]ームとなる譯だこの多數のチームの中早大招聘の華盛頓日本運動協會招聘の[illegible]

從來來朝したチーム殊に昨年なども可なり儲けた爲に選手[illegible]で强チームに人氣を吸收されイパワインデアン軍などは非常に困つて居るといふことで[illegible]

演藝案內

本町一丁目 有樂 喜樂館
九月二十七日より特別映畫封切 ◎實寫英國ダービーの盛況 ◎歐米喜劇界の大立者 ◎滑稽活劇 アデ君のドッグ 全二卷 ◎新派悲劇 花ちる夜 全五卷 ◎日活向島撮影部新派映畫 第三の眼 全卌一卷の內 第五六篇四篇上映 日活會社(第三報)
東宮殿下 御入洛後の御動靜 日活京都派本月撮影當館封切
馬場三郎兵衛 全五卷
第一新派悲劇 破れ筏 全五卷
塙團右衛門 全五卷
東宮殿下 御入洛の御動靜實況

本町二丁目 電話七八五 壽館
九月二十九日午後六時より 歡迎琵琶大會 主催 京城琵琶會教師有志

黃金町 電話一六三七 黃金館
二十九日より寫眞替 ◎實寫スケート大會の實況 ◎新派俠骨 ◎新派喜劇 水戶黃門無錢漫遊記 全七卷 ◎連續大冒險 星の魂 第三篇第四篇 ◎新派悲劇 心の影 全五卷

明治町 電話一六〇番 浪花館
九月廿七日より開演 大合同大一座
女義 界 [illegible] 大正館

本町五丁目 電車終點 電話二三八番 浪花座
東京名題尾上菊十郎市川延十郎大一座
九月廿九日四の替り狂言 前狂言 伊賀の水月 中狂言 菅原四段目 切狂言 碁盤山姥

京龍館 電話三一番
阿部豐後守 全五卷
安執の影 全五卷
姉の心 全五卷

お祭近づく 幕!幟!印半天!
永樂町一丁目 龜屋染工場 電話一五八五番 迅速調製

梅毒や淋病に困る方
無代進呈 ハガキで
▼座敷して醫師上人にも知らせたくなし醫師へ行くのもキマリ惡く又は多忙の身で時間の經濟や不便の土地で秘密に治さんとする方
▼永年時候の變り目に時々起る慢性症も至極安全簡易に治る現代最善の自宅療法であります
燐毒なれば(受付一番)淋病なれば(受付二番)と各其病名を記して御申込あれば非賣品詳細なる自宅で出來る安全なる療法と藥の說明書を密封進呈す
東京市向島小梅町 東京藥化學研究所

赤玉ポートワイン
その美味! その滋養! 眞の葡萄酒を解する人は 眞に赤玉を愛する人なり 然り赤玉は 葡萄酒として 最上の品質を誇む

鮮滿一手發賣元 タオル
卸商 ハンカチーフ
立鹿印タオル 白無地特製
エムテー印 諸戶タオル製糸撚物
上月商店 京城若草町 振替三三五城京一番 電話一〇三五番

現金問屋
蜂印メリヤス
相場表進呈
大阪市南本町 中川商店
蜂印いろは靴發賣元

生殖器りん病
顧客は、北里醫科大學敎授ホリタケ博士の新學說で水井用療法器應用の専賣法、自宅新療法が出來る事は使へば一回毎に効果が見えて短日月で全快し人生の手術に非常の療法を實行して見せ殊に淋病の手術を專らにしては根治器を使用すれば如何なる慢性淋でも全く根治して了ふ
圖入說明書無代密送致します。
東京神田小柳町廿九 株式會社 新療法研究所
京城黃金町一 京城支部

京仁川輕便鐵道

价川輕便鐵道時刻表

北行 列車番	一	三	五	七
新安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
從興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泉洞着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

南行 列車番	二	四	六	八
泉洞發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
從興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州着	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

御祭 定紋門幕 廉價調製
いづみ屋染工場
京城仁川花町二丁目 一報次第參上地方は見本定價表進呈

どんな難病もきつとなほる
専賣特許電氣透熱治療機の大發明
本器は自家の電燈に差込んで皮膚に接するのみに依りロイマチス其他初秋流行病豫防をなし得るのみならず婦人病神經痛腸病胃腸病等は加療數時間にして治療の目的を達する獨特の特效を有し不治の病たるリユウマチ、中風、梅毒其他の病的一切の難病に使用即刻生理的本能回復の反應として如何なる難病も郁ち爽快なる氣分と共に其の顯著なる事を自覺する本器は其の構造が電熱に於て一種數千の原理に依り製作せられ更にマツサージ電氣治療の目的にも合致す可く發明せられたるものにし今日迄の科學の範圍に於ての電療器中本器の如き最高の特長を具備せるもの他に其例を見ず本器は電氣を使用しつゝ强力なる無線電磁波を連續發生し何等の刺戟を與へず然も加療中は攝氏四十度乃至四十二度の勝熱加療をなす本器は電燈に差込んで使用して絶對に安全危險にならない本器を使用しても絶對に危險でない世界的大發明人類救濟の器械であります定價値は十八圓
東京府下谷仁ニ貳番 日本電解工業 [illegible]
[illegible]

◇臺縣臺群代理店長招聘 (詳細申込次第郵送)

【上海發電】上海に假政府を樹立し李始榮を財務總長に推し推轂に辣腕を揮ひたる元財務次長尹顯振は[illegible]に在佛國租界地廣慈病院に入院加療中の處病革り去る十[illegible]病沒し[illegible]年間の[illegible]假政府の調停を促進せしめたり其他[illegible]に勢力を有せる尹斗赫、李鍾洛[illegible]にて病沒し假政府は今や全く孤城落日の感を呈するに至れり

[illegible]インデアン、チーム一行十二名は去る九日ローサンゼルスを出發し來月一日横濱入港[illegible]

[illegible]ニルデン（廿五）フォーテス（[illegible]）[illegible]（二十二）[illegible]アール、レーマ[illegible]ゼ、マーチン（二十四）

[illegible]アタック一行は横濱に上陸して直ちに關西に向ひ八、九兩日關西で試合を行ふ筈此外に[illegible]インデアン軍がダ軍、[illegible]盛頓大學、關西へ行つて居る[illegible]香坡の旭軍、布哇チームの五チームを加へ八チームのであるが[illegible]は皆ブローカーが作れて來たので日本へ來れば儲かるといふので來た連中であるのである○[illegible]の職業[illegible]來朝を希望し既に其交渉人が來て居るといふことであるが[illegible]チームの混戰に何れも共倒れの形である[illegible]一人氣を[illegible]つて居る形である

◇朝鮮醫學會總會（廿八日京城公會堂）

樋口中尉のサ式四二二四號 濃霧の中に著陸す

今田中尉……津市に不時著陸　依田曹長……姫路高岡に著陸　小澤軍曹……廣島練兵場へ

二十七日午前七時三十分所澤を出發したる四機は午後三時に至るも太刀洗の上空に現れず憂慮しつゝ待ちゐたるに樋口中尉の搭乘せる一機が三時二十分陸の流るゝが如く萬歲歡呼の裡に著陸せり而して其後各地よりの急報に依れば今田中尉は伊勢地方の上空を飛行中發動機に故障を生じたるもの、如く津市附近に不時著陸せるが著陸の際機體を破損し應急修理し難く斷念すべく依田特務曹長は姫路の天空に現るゝやアストンプに故障を認め直に姫路市を距る西南約一里の高岡村の畑中に著陸し目下修理中なれば二十八日正午頃には出發太刀洗に飛來すべく觀測さる小澤軍曹の一機は揮發油補充の爲め廣島練兵場附近に途中著陸し補充を了はり即日出發せんとしたるが既に夕暮となり已むなく二十八日午前出發することゝせり（二十八日午前一時太刀洗特電）

二機途中に不時著陸す

（以上號外再錄）

【所澤廿七日午後三時發急電】依田特務曹長、今田中尉の操縱せる二機は途中著陸す他の二機は飛行をつゞけ内一機は午後零時五十分廣島通過の旨入電ありたり

小澤軍曹廣島泊り

【所澤發急電】樋口中尉は二十七日午後三時二十二分無事太刀洗に到著せり小澤軍曹は機體に故障を生じたる爲め廣島に不時著陸し午後四時二十分出發せんとしたるも又々故障あり出發を見合せ同夜廣島泊二十八日午前八時出發飛行の筈

樋口中尉行過て引返す

【太刀洗特派員發電】所澤陸軍航空學校の日支連絡長途飛行は二十七日愈決行されたり太刀洗は朝來空晴れたれど觀衆多し「午前七時半四機所澤出發」「三機豐橋通過」「今田中尉操縱サ式百九號機伊勢津市に不時著陸す機體故障使用に堪へず」『二機大阪通過』『一機廣島通過』等の急電は續々到著し關係者の不安は各地電報接手毎に加はりたれど二機の消息達せず不安に包まれ午後一時半到著豫定なりしも三時に至るも一機も機影を見せず斯る内に樋口中尉のサ式四千二百十四號機三時二十二分無事到著し一同蘇生の思ひあり

樋口中尉太刀洗著陸す

【太刀洗廿七日午後四時特派員發電】樋口中尉の操縱せる一機は愈天候風の所澤を出發し二十七日午後三時二十二分無事太刀洗に到著し群集の歡呼を受く」他三機は未だ飛來せず消息不明なり

盡きぬ恨を抱いて空家で死んだ女

殘酷無情な盲目の夫 遺棄罪で告發せらる 平壤稀有の事件

人を呪ふやうな秋雨がしとゝ降り賜く二十六日の夜、平壤八千代町一番地の空屋に四十餘りの女が苦悶して悶死したじめ〳〵する四疊半の一室に彼女は髮をおどろに振り亂して痛み衰れた冷たい身體を横へてゐた枕元に轉がつてゐる湯の土瓶は彼女に對する知己の情を語つてゐる——。唯單に斯うした一小事件には過ぎないが斯もこの死因を探究すると其處に殘酷な世相の一斷が窺はれる平壤署では稀有な事件として取扱ひ彼女の夫小原延明を遺棄罪として告發した。

女の死體が發見されて間も無く同じ裏續きの長屋に住んでゐる琴の師匠小原延明は盲目の見ぬ眼を白く動かしてにたりと笑つた。延明の妹マキは其處に恐ろしい妖女の姿でも認めたのか夜具を頭から被つて戰いてゐた隣家から洩れる灯火の影は恰も鬼火のやうに物凄く瞬いた。秋雨は宛ら亡靈の怨み言のやうに啾々として聞ゐる。

死んだ女は小原ベンと云つて延明の妻であつた。延明は盲目ながらも色魔の本性を失はず、渡鮮する迄に數人の女を弄んで一時假の妻とし、其の女に飽きると弊履の如く捨るが例であつた。ベンも亦さうした運命に支配される悲しい女であつた。彼女は延明と共に今より三年前平壤に流れて來た。そして延明は琴の師匠を始めた。まもなく延明はベンが邪魔について來て、絕ねず出て行けかしの冷たい態度に出た。其の時延明には既に情婦が出來て、人知れず關はれてゐた。

何答も無い、ベンは延明から離緣の宣告を受けた、平壤地方法院に訴訟が提起されて、平壤の人達から延明が鬼盲目と云ひ罵されたのも此の時からである。人として詐りで滅く、道德上から云つても何等の缺點のないベンは訴訟に勝つた、そして彼女は延明の家に歸つて來た、既に此時彼女は病を抱いてゐた。延明はベンを厄介視して妹のマキと共にベンを虐待した。そして病が漸次進むと共に彼女を遺棄して同じ裏續きの家に引越したベンの病み臥すオンドルの紙まで剝がして……

ベンと延明との間には五つと三つとの二兒がある、ベンは二兒の爲め延明が翻て非を悟るであらうと儚い望みを抱いてゐたが延明兄妹は更に顧みなかつた。病は益重る許り、見るに見兼ねて涙ある人々は延明に忠告したが彼は頑として應じなかつた。マキも延明に優るとも劣らぬ冷酷な女で、戶籍上姉であるべきベンを路傍の石の如く一顧だにしなかつた、ベンは涙ある人達によつて露の命をつないでゐたが數日前胃痙攣から急性腹膜炎に變じ、火氣もない荒れ果た空屋で四十を一期とし怨みに死に死んだ、平壤警察署では遺棄罪として延明を告發した、マキは其の夜から惡夢に襲はれてゐる。あれ幽靈が……と夢中に口走つてゐる、ベンは死す數時間前平壤開業醫金子重寛氏の手厚い施療を涗んで、附近の人に熱い感謝の涙を流した（平壤）

十餘名の強盜現はる

戶締を破りて闖入し家人を縛し上げて現金十七圓、雜品數點を強奪し悠々と引上げ

廿八日午前二時卅分頃市內東四軒町三四番地電氣會社雇人金[illegible]方に凶器を携へたる十名位の強盜の一團は戶締を破りて闖入し家人を縛し上げて現金十七圓、雜品數點を強奪し悠々と引上げたるが被害者は凝の山中に居住する者にて午前九時頃に至りて漸く縛めを解きて西四軒町派出所に右顚末を屆出たれば本町署にては直に非常線を張りて逮捕に努めたるが未だ檢擧するに至らず

時事新報社燒失す

【東京發電】廿七日午前五時時事新報社分工場より發火同工場及編輯部を燒き更に新設の輪轉機二臺を燒き六時鎭火せり原因は文選工の惡戲より火鉢を引繰返したるものゝ如し

煙火を打揚げ歡迎す

所澤飛行隊の四機釜山上空通過は多分不可抗力の故障なき限り廿九日の午前九時より同十一時の間なる可しとの事にて當日釜山府にては機影眼界に入ると同時に伏岳山上より一機毎に煙花を打揚げ滿腔の歡迎の意を表し一般に通報する事に決せり（釜山）

沿道全部霧深く羅針盤を便りに飛ぶ

著陸せる樋口中尉語る

樋口中尉の談によれば『沿道全部雲深く羅針盤を便りに飛びたるも太刀洗を通り越し佐賀縣唐津に出で引返したので時間を要したのである』と

藤岡少尉交代飛來せん

【太刀洗特派員發電】太刀洗、京城間の飛行に就ては河田指揮官の指揮を待ちて決定する筈なるが今田中尉の代りに藤岡騎兵少尉太刀洗より參加すべしと

關門の上空を通過す

【門司發電】所澤より太刀洗の陸軍飛機一機當日午後二時三十分關門海峽上空を爆音高く一千米突の高度にて高速力を以て通過西行す

太刀洗京城間の飛行は結局三十日にならう

瀨戶中尉の談

三時廿分太刀洗に到著した樋口中村は最大限の八時間飛行を續けたが他の三機は故障あつたから察すると隨分苦勞したことゝ思ふ、何しろ八時間の間飲まず食はずだから其の苦痛は實に一通りではない途中著陸した依田特務曹長や小澤軍曹は二十八日午後は太刀洗に到著する見込だが二十九日は一日休養し結局順調に行つて三十日太刀洗京城間を飛ぶことゝなる譯だ

豫備試驗飛行第二日今日午前八時より

日滿連絡飛行汝矣島著陸場に於ては二十九日午前八時三十分より豫備機サルムソン五三六二號の試驗飛行を行ふべし、因に日滿連絡飛行は二十七日所澤を出發しその道程にあることゝて汝矣島著陸場は飛行機來るとて異常な活氣を呈しつゝあり

各務ケ原航空隊格納庫 飛行機十二臺大破す

【各務ケ原發電】二十五日夜來の暴風雨にて各務ケ原航空隊飛行機ソ式一、モ式七、中島式四臺大破使用に堪へず損害莫大なり尚格納庫も大破せり

疑問の男 呂運弘釋放

太平洋會議と鮮内民心の狀況視察？

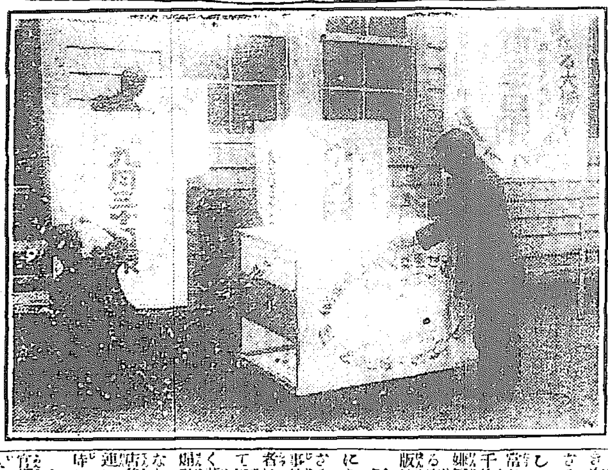
原籍揚平郡西始面新院里當時支那上海龍門路二百六號仁成學校校長呂運弘（三〇）は例の上海假政府なるもの、外務總長と名乘る呂運亨の實弟なるが去十八日南大門驛を發し門司へ向はんとする所を怪まれ警察部の手に捕へられて取調べを受けたるが結局犯罪の證憑的確ならずとして二十八日釋放されたり右に就き當局の語る所を聞くに本人は朝鮮へ歸來した目的は總督政治の實況を視察する爲だと稱するも其實

太平洋會議に就て上海で盛んに宣傳し現に日本內地へも秘密に宣傳しつゝあれば表面は觀察と稱して其實は太平洋會議に關し鮮内の民心狀況を探りに來たものと認め而して所謂假政府の太平洋會議に對する種々の畫策ありと認めて取調べたり

本人の入城

せしは本月中旬にて十五日京城ホテルに一泊せり滯在中東亞日報の副社長たる張德秀及青年聯合會々長たる吳祥根其他耶蘇教の宣教師と會合して太平洋會議に關し全鮮の民心狀況及總督政治に一般鮮人が反抗して居るや否やに就て意見を求めて居る以上の事實に徵して見ても

同人は太平洋會議に際して鮮内一般の狀況を取調べる爲に來たものと斷定し行動を[illegible]



府内洋服職工賃金値上を要求す

店主側でも對策講究中

二十七日以來京城府內洋服職工組合員五十餘名は突然結束して各店主に對して洋服仕立賃銀の値上を要求しつゝ、行りて現在は情氣漫々たるサボタージュの狀態なるが

要求の入れられざる曉には何時迄も[illegible]の强硬態度に出でんとも限らず市內洋服店主は緊急の事として慌て某所に寄合ひ種々協議中であるも右に就て以上[illegible]關する處に依れば職工側は[illegible]

京城府の納稅宣傳

京城府では本月末日納期限なる府稅戶別稅の滯納を防ぐため納稅標語を表記した大行燈三個を調製し之を人夫に擔がせて廿八、九の兩夜本町及び黃金町通りを、一個は南大門鍾路東、西大門方面を他は龍山一圓を宣傳して廻つた

棧橋埠頭寂寥を極め一人も就業せず

釜山鮮人仲仕盟休の其後

【釜山】既報の如く賃金値上げの要求に對する組頭側回答遲延の爲により端しなくも勞資間の火の手を揚げ連絡船貨物荷揚の不能は素より

入港船舶積載貨物の陸揚遂には北濱逆送の餘儀なきに至らしめたる釜山驛及び棧橋を中心とする鮮人仲仕の同盟罷業は警察側の兩者に對する懇諭ありたるにも拘らず廿七日夕に至るも相互の互讓的諒解中々成らず依然盟休は引續行はれ棧橋埠頭に寂寥を極めつゝあり水陸兩署にては廿七日早朝より

北濱一帶の

海岸に警察員を派して警戒を加へる所ありしも更に一人の就業者もなき有樣にて何等不穩の狀は見ゐざるも只持久睨み合の姿を持續しつゝある形勢なるが最も勢援しつゝある形勢なるが最も勢[illegible]當日の廿六日に黑休官傳ビラ三千枚の配布に關係ある有力なる嫌疑者三名及之を印刷に附したる慶南印刷株式會社は何れも出版法違反犯者として處罰せられ

日下嚴重に

取調べ中にありて未だ發表の自由を有せざるも仄聞する所によれば今回事件の主謀者及び官傳書の執筆者は意外の人物にして其筋に於て既に其見當つきたるもの、如く背後には糸を操つる有力なる煽動者黑幕中にひそみ居る模樣なり因に澤山商會、內國通運支店其他處々彷徨中の罷業仲仕連に對し就業の勸告を爲すと同時に

各運送店に

於ては警官援助の下に差當り荷車を雇ひ入れ內地人仲仕を監督につけ[illegible]

最高値より一錢五厘も猶高く

[illegible]陸貨の[illegible]要求し一擔仕立に對して五圓位の値上を要求せるものにて現在の諸物の下落しつゝあるに際して餘りに不當な要求と言ふべく

店主側にては二十八日午後には折衝に努め相當な回答を與へる筈であるが兩方の說を主張するに於てはいつ解決すべきか現在にては逆睹し難し

時頃[illegible]釜山水上署から連絡船仲仕よりことで送達された書面には今春以來雜貨一個一錢二厘の定めなりしを一錢一厘に引下げられ更に其後一厘五分の引下げを行はれたるより到底其當時より米價の騰貴したる今日一生懸命働くも月收僅に三十圓內外にて生活も出來なければ從前通りに引上げを希望する次第であるとの意味の陳情の文言がくど〳〵しく述べられてあつた

蠶業講義錄

交配種編

蠶業家に告ぐ 勞力と經費を半減して而も確實に二倍の收繭ある說明書本會はタダで進呈します

會は蠶業家の失敗を根絕すべく。斯業の最高學府たる西ケ原飼育の秘法を同校講師に依りて講述公開し一般會員を募集す……三ヶ月卒業

◇◇會費金參圓五拾錢　東京麴町有樂町　西ケ原蠶業研究所　振替東京五七三〇九

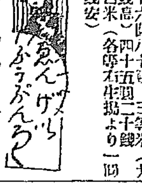
白米値上

暴風雨の影響

【東京發電】今回の暴風雨は最も先に米相場へピンと響いたことは稻作に被害が多からうといふ見越しで二十六日期米は暴騰を來たしたが正米も連れて八九十錢高となつた併も夕刻に至りては白米商組合は拔目なく小賣相場の値上を決議發表した△牛掲一等米（一圓高）四十七圓四十錢二等米（一圓十錢高）四十六圓八十錢三等米（九十錢高）四十五圓二十錢△新白米（各等不在牛掲より一圓十錢安）

西頭旭總氏歡迎琵琶大會

東都橘流筑前琵琶界の重鎭西頭旭總氏の入城を機として京城旭會所屬敎師有志の主催で二十九日午後六時より本町蓬萊館に於いて歡迎演奏會を開催するが氏の演奏曲目は京城では初めての試みである新曲お伽琵琶兎と龜（中村旭文作）新曲須磨知盛合奏（中村旭宣西頭旭總）新曲菊水西頭旭總彌成栄的琵琶曲彌御國の柴西頭旭總其他在城有志十數名の出演あり



關釜連絡船

廿八日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
廿九日	朝、壹岐丸	夕、昌慶丸
三十日	朝、對馬丸	夕、新羅丸

釜山發　朝 六、五〇　夕 八、三〇

京城府尹
一、龍山普通學校新築工事
右來十月四日午前十一時入札
詳細ハ當府門前ニ掲示ス

京城府尹
一、京城貞洞普通學校新築工事
右來十月三日午前十一時入札
詳細ハ當府門前ニ掲示ス

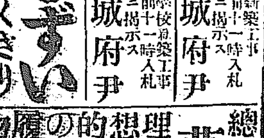
せきずい 滑くきり
病にて今日迄あらゆる療法や藥劑を用ひて治らず自ら一度當所の製藥所に就き最も深切に御相談下さい御教へ致ます遠慮なく申込あれ
兵庫縣明石中町太平堂製藥所

內科、小兒科
高木病院
仁川仲町
電話七一九番

社員招聘
一、甲種程度ノ學歷ヲ有スル者 數名
但シ採給月額百圓内外ヲ支給ス
一、年齡廿歲以內見習社員 五名
但シ內地人ニシテ身元確實ナルモノ
右近日創業ノ本社並ニ本社ニ於テ採用ス希望者ハ本社長宛自筆履歷書ニ寫眞ヲ添へ至急送付アリタシ
京城府明治町
朝鮮商業通信社

獨逸製
和製より安くて丈夫
ピアノ新荷著
オルガンモ不日著致ます
十一個ストップで二百五十圓
京城日の出小學校前（電話長三〇五番）
杉野舶來樂器店

理想的の履物
總ゴム…籐表式
萬年雪駄



商品の御注文は帝國雪駄界の新發明品であります……
實價壹圓九拾錢
東京市淺草區瓦町二八
內外商事會社
電話下谷七六一 振替五五九

支店主任募集
一、任地滿洲奉天
一、中等教育あり有妻者に限る
一、保證人二名又は信認金を提供し得るもの
右希望者は自筆履歷書携帶午前中御來談被下度候詳細面談
京城南大門通五丁目
有田ドラッグ滿鮮本部

冬衣新新珍柄 カタログ出來有
御報賜り次第御送呈可仕
高貴織、八端織
實用向銘仙
御袴地、裏地
本場伊勢崎銘仙
群馬縣伊勢崎町
羽尾商店小包部
振替東京一八七〇七

地方諸官衙御用達
西洋家具類 ストーブ石炭 毛織敷物類 室內裝飾品 金庫諸紙類 活版印刷
平壤府南門町一丁目
柳沼市之助商店
振替口座京城七五〇八番
電信略號（一ヤ）

謹告
南滿洲鐵道株式會社製 旭硝子株式會社製
硫酸アンモニア
菱印曹達灰
右販賣開始仕候間不拘多少御用命願上候
滿洲安東縣市場通九丁目四番地
合名會社 竹本商會
電話長一七三〇、一八〇二 振替京城一八六二〇
蠶糸 穀肥類 輸出入商

[illegible]（十二）

小金井芦洲講演

第九十九席

雑賀佐九郎は長刀を引ッこ抜いて、受けつ拂ひつして居たが、相手は大勢だ、遂に其場へ斬倒されて了つた ○『ヤア、逃げる者は構ふなッ、金こ荷物さへ取りや好い』こドシ〳〵彼方の船へ荷物を移す、是をば最前から

黙つて見て居た佐々木岸柳、悪ンで漁ではあるが固より武藝者の事ゆゑ、此場に臨んで傍観して居る譯には往かぬ、天に代つて海賊を退治し、船中一同の難儀を救ひ呉れんこ、ヌックこ立上つた岸柳、筏に附たる包の中より取り出したる二尺三寸五分、波の平行安の一刀、柄に手を掛けギラリこ引抜き 岸『コレ海賊共、確かに承はれ、船中に我等あるを知つたるか、天に代つて汝等を誅伐して呉れん、一人〳〵は面倒だ、片ッ端より死人の山を築いて呉れるに依つて一度に殘らず掛つて來い』こ言ふ聲諸共、傍への一人を夫れへ斬つて落した ○『ヤア六部が出た〳〵、太い畜生だ』何方が太いか譯が分らない、八方から斬込んで來る奴を跡へ下つてチャリン〳〵こ受流し、踏込んでは斬り、斬つては拂ひつバッタ〳〵こ見る間に八九人を斬倒した、此勢ひに小賊共辟易して ○『ヤア往けねえ〳〵』こ逃げ惑ふ、そこへヒラリ現れたのは、黒の創油、脚袢仕立ての革足袋を穿ち、白布を以て鉢巻こなし、脇に槍を掻い込んで 頭『サア汝等、一匹の六部に恐れ、逃げ惑うこは意氣地なし、イザ俺が相手になつて呉れる』こ突然槍を扱いて突いて掛る、跡へ退つた岸柳、一刀を中段に附け、ヂッこ構へて双方顔こ顔を見合せたる時、頭『ヤ、ッ是は先生』こパッタリ其場に槍を投げ捨て『先づは手前船までお出でを願ふ』こ岸柳を小船に移して引揚げた、天神丸に乗つて居た連中は ○『ヤアお船頭六部が連れて行かれたぜ △『アレ筏を置いて行つた事に依るこ賊こ馴合かも知れねえ、何しろ海賊は行つて了つて好かつた』こ一同安心をして船を出す、此方は小賊共、天神丸を離れてヒョイこ見るこ、小頭が六部こ何か話をして居る様子 △『オヤ往けねえ〳〵小頭、大變な者を乗つけて終つた 頭『騒ぐには及ばねえ、何んでも良いから汝等は船を漕いで元船へ著ければ良い』こ言ふ。此賊の小頭こ言ふ奴は彼の織田又六郎こ言ふものだ、宮本武蔵に大勢の者を討たれ、自分は清洲を遂電して海賊の群に入り、小頭こなつて悪事を働いて居ります 岸『イヤごうも織田、貴公に此所で遇はうこは思はなかつた 又『先生には例もながら御壮健で重畳にございます、然しお變りないこ言ひ度うございますが、大分お變りになりましたな 岸『私も變つたが貴公も變つたな 又『シテ先生、何所へお出でになります 岸『實は秀吉の詮議が厳しく到底身を安く置く所がないに依つて、寧その事四國へ渡つて了はうこ考へ、大阪川口から船へ乗つて参つた所だ 又『左様でございますか、然し先生貴方は四國へお出でになつた所が、矢張り安心は出來ませぬ、夫れよりは私こ御一緒にお出でなさい 岸『夫れは往かぬ 又『何故でございます 岸『何故こ言つて、僕も剣刀齋岸柳、元は木下家に於て指南役を勤めた者、如何に落魄せばこて、海賊にまで成り下る事は出來ぬ、御身こても然うではないか、世が世であれば木下家の臣で、相應の祿を食む者、何で海賊になぞ相成つた 又『その御不審は御尤もでございますが、然し一生海賊をして居る譯ではございませぬ、是も色々仔細のあります事で、向ふに見ゆます淡路島に、當時九州浪人で樋口淡路守こ言ふ者がございます、是が秀吉に恨みあり何こかして秀吉に謝討ふ〳〵こ言ふので、多くの者をば集めて居ります 岸『ウム〳〵』

染物洗張師 清水堂 京城府漢江通三電話七九四番

歯科 米國歯科ドクトル 三品敬吉 明治町通現物取引所南隣角

菓子進物用品 色々取揃へて居ります 京城 大和軒

將棋新手合（五）

於東京日本橋濱町三四將棋會所
香角交 △五段 宮松關三郎（東京）
角落番 ▲二段 戸倉五郎（東京）
圖は前號指了迄の局面
▲持駒 戸倉氏 金銀歩三

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▽香	▽桂							▽香	一
						▽王			二
				▽金		▽銀	▽歩		三
▽歩				▽歩	▽歩	▽歩		▽歩	四
									五
	歩	▽歩		歩				歩	六
歩			金		銀				七
	玉	金			角		飛		八
香	桂							香	九

宮松 戸倉 ▽持駒 歩三 宮松▽

△八七歩 ▲七九玉(リ) △三五桂 ▲三六銀 △二四桂 ▲三五銀 △同歩 ▲二五桂 △三四銀打(ヌ) ▲六二銀 △五二金(ル) ▲五三金 △三六桂 ▲三三桂(ナル) △同玉 ▲五二金 △二八桂(ナル) ▲七五角 △二四玉 ▲二六歩 以下次號

講評

▲(リ)七九玉は穏し此處單く同玉こ取る處なり
▲(ヌ)三四銀打ち機宜に適したる防禦手段なり
▲(ル)五二金引き大によろし

暦

九月二十日（舊暦八月廿九日）
金曜日▲丙申▲一白▲破 劍北方▲大安▲鬼宿▲閉

▼一白▲外面はよく見ねても内實は却つて不印の日散財を戒む
▼二黒▲不得手を付け込まれ易く大事徒勞に歸する日普請は凶
▼三碧▲喜ばしき事多き日移轉も旅行も求職も其他よろづ大吉
▼四綠▲内外相呼應して諸事順調に進むべく新舊何れにも有利
▼五黄▲品澤山の商内滞の日何事にも辛抱が第一世話事大禁物
▼六白▲至極好調居ながらにして福徳合せ得る如き日待人來る
▼七赤▲當選を意味する日之まで持越せし紛擾も難なく解決す
▼八白▲口舌過ぎては禍ゐ醸し易く取損じ又出費多かるべし
▼九紫▲信じ過ぎて損失を招く外稼ぎよりは内働きが安目全な

秋の胃病

赤痢コレラの黴菌も強壮なる胃液の塩酸に逢へば忽ち滅殺せられるから、胃を強壮にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である然るに秋は日中暑くて朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずこも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫の合議製劑の胃活……速は急け今直に……

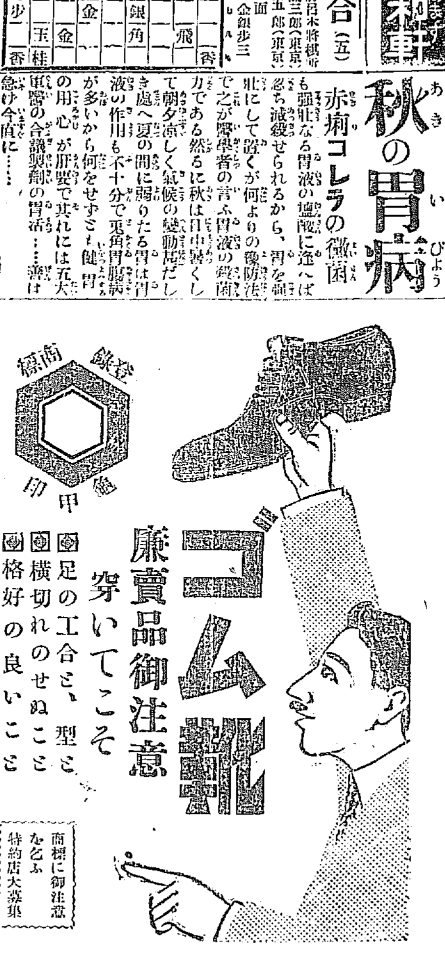
定價 胃活 壹圓、五拾錢、廿錢 全國及海外各要所の各藥店に有り 本舗 東京・大阪 山田安民藥房

男女 地方通信客學員募集 藥務高商收入確實多大自宅本副業内職に最好適 評細説明書呈 槊拾錢 東京本郷區眞砂町 育文館出版部

往診 自午前八時 至午後十二時 花柳病は特に夜間診察 宅診（午後二時以後） 仁川仲町一丁目（仁川倶樂部隣） 壬生醫院 入院隨意 電話六一六番 咯痰、血液、糞尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

醫化學諸器械一式 Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三二四・振替京城六七番 京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六〇番 藥種賣藥卸商

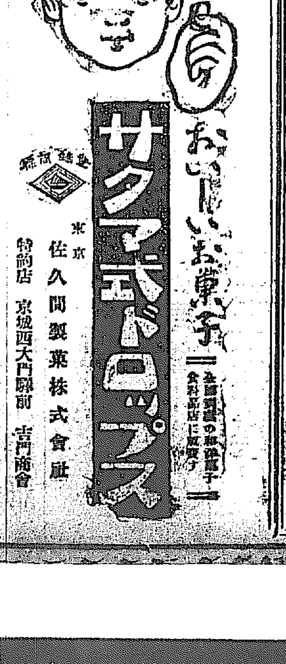
灘 酒 の 一 隨
サハノツル
攝津灘 石崎株式會社醸造
仁川本町 河野本店



謹製品卸一式 大道吉治商店
私の店の堅固な自信御愛用を仰ぎます
大阪市東區瓦町四丁目壹番地
電話本局四一八七番 振替大阪五八八六六番

京城本町二丁目 川合時計店 電話二九一八 振替京城二二九一

水車唐箕製造販賣 京城本町二丁目電話取次一四七 元 猪士井事 飯田工場



クリームをお塗けになるなら
ホーカーオナー
になさいませ——

ホーカーオナーは『クリーム』の中で一番品質が良い』との好評を博し今では紳士淑女の素化粧や化粧下日ヤケ止め等に塗けるのが大流行で御座います

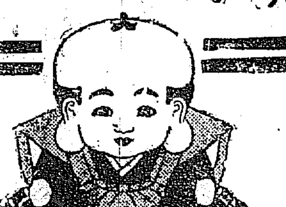
三十五錢 六十錢 一圓廿錢 送料六錢

最寄の店に品切の際は三錢切手か振替で本舗へ直接御注文下されば スグ送ります

ホーカー液本舗 神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店 電話神田 一四四三 一四五四 一五六 振替東京

誰人の肌にも思ふ樣に塗く
ホーカー白粉
ノリノビがよく塗けた白さが上品で賦味のないのが本品の自慢です一瓶三十六錢

名實共に日本一



穿く人が褒めるから流行る
福助足袋
人に負けない樣お召し下さい

朱子
ベッチン
キャラコ
木綿

平南普校狀況

平安南道における明治［illegible］百二十八人に對し志願者五千八百［illegible］あり尚本年度の募集定員三千九百四十校なり今之が分布狀態を出せば左の如し（三面三分こなる）

年次	學校數	兒童數
大正五年	四〇	七、八〇七
大正六年	四一	八、九三七
大正七年	四一	九、六六三
大正八年	四三	七、九三七
大正九年	四六	九、二四五

満鐵社長上京

【大連】［illegible］早川満鐵社長は十月十日頃出發上京の筈
［illegible］なる満鐵重役會議終了の上は十月十日前後大連出發上京の途

安東縣一泊

［illegible］を張るべしこ
【安東縣】早川満鐵社長は［illegible］が去る二十七日午前中までに何等の返答なかりしも多分十三日［illegible］肥閣に一泊四日午前九時四十分［illegible］にて安東［illegible］り各方面を視察の上同日午後十時十分發の［illegible］

［illegible］を招待し二十五日金剛山探勝に向ふ筈なりしも暴風雨にて到底探勝の目的を達する能はざるた［illegible］

［illegible］ワード將軍出發［illegible］ーブス氏米國陸軍大佐マッユーイ氏・大使館書記官アーサートン氏外［illegible］

【仁川】仁川基督教青年會は［illegible］七日午後七時より青年會樓上にて［illegible］

朝鮮私鐵合併批判【四】

【四】國私兩鐵合併說としは（イ）朝鮮の國有鐵道投資額は約二億圓なり然して滿鐵が委任經營の利金として總督府に納金する金額は殆ど公債の金利にも足らず二億圓の資金は全然固定して總督府財政窮乏の今日之れが利用の途なきは甚だ惜むべき事にして國鐵振興の一法として且つは私鐵救濟且振興の一策として政府は國鐵を出資として私鐵と合同し官民合同の特殊會社を設立するに於ては會社は十分なる信用と能力とを占め資金も民間より借入れを以て辨し朝鮮産業の中心となりて朝鮮式鐵道の經營を便にし鐵道經濟も意外に好轉し結局朝鮮鐵道の根本的進捗を見るに至るべし一方總督府は今日の鐵道資金程度を増加することなくして其目的を徹せらるべしとの說なり（ロ）されど本問題は朝鮮鐵道政策の根本的改革なり從來の關係を悉く裁斷して頗る果斷に之を處理せざるべからず其れには幾多の難き事情あり（ハ）又事業當事者の人選問題にして滿鐵との關係現在の如くんば急速實現を見ることの難き事情にあり、而して其人材を得ず幾多の情實よりして適材を適所に得ることを得ざるに於ては朝鮮鐵道の運命は今日以上の難境に沈淪せざるべからず要するに時機と方法との妙用を要し今後に於ける慎重なる調査に俟すべし

不合格米と京仁

【平澤】米穀容量の一定に關しては米檢規則發令當時より四斗入を原則とせるが十月一日より五斗入に對しては如何なる理由の下にか絶體に檢査に着手せざる旨言明されたりと聞く

五斗入は

再度の改良手數を要する關係上合格米用としては絶體に需要なく、全部白米用として精米業者の手に渡しつゝある、而して我平澤並に西井里、烏山、水原等の生産地は何れも立場を同うし、不合格米の搬出先は法令上道內何れに搬出するも隨意であるが、殆ど京城、仁川の兩所に限られて居る姿である、併し乍ら仁川移出に對しては大正六年九月廿七日道令を以て檢査を要する旨規定され、爾來五斗入不合格米として受檢搬出して居たのが、今回前記の如く五斗入が絶體に檢査されないものとすると自然仁川移出は四斗入包裝とせざるを得ない譯である、於是乎生産地として

京仁搬出

中何れが有利なるや否やを斷ずるに先たち五斗入と四斗入包裝の兩者に對する經費所要額の對照をなすの要がある、今之を比較すると左の通りである

	五斗入	四斗入
叺代	三六〇圓	七二五
繩其他	二二〇	三七五
計	五八〇	一、一〇〇

右の計算に依ると運賃は別として經費のみで五斗入に要するものが石當り五十八錢、四斗入包裝には一圓十錢を要し、差引一石に付五十二錢の多額を生じ假りに一ヶ年百六十八石を積載するものとして見て實は八十七圓餘の輕費を生ずるのである、即ち五斗入は石五十二錢と之に要する檢査料を合算すると實に六十二錢と云ふ莫大な多額を見る丈けのことである

檢査不能

の爲め仁川側は京城側に比し不利益の立場となり、小産地側も京城、仁川搬出が不能となる丈け販賣區域が縮少さる、苦痛を生じ、獨り京城のみが漁夫の利を獲るの結果

容量の一定

を圖るに假りに達を受けたる五斗入不檢の趣旨が那邊にあるかを知らずと雖も、吾人は今回示達を受けたる五斗入不檢の趣旨を解するに苦しむ譯である、ありとせば京城搬出に對しても亦仁川同樣受檢を必要とするに改め京城及仁川に對する取扱ひを統一せざるに於ては自然容量統一の目的を達せざるのみならず、惹ては生産地の販路を縮少せられむことを希望せざるを得ないのである。

黑鉛保護必要（松井生）

朝鮮黑鉛は印度黑鉛が對印爲替關係に依り噸當り六十圓方の割安なる爲めに多大の打撃を被り氣息奄々たる現狀なるが目下の處は右黑鉛が戰時必要品たる關係にて不振ながらも多少の移出を見つゝあり今日の狀態にして永續せんか黑鉛の供給は印度黑鉛の獨占する處となり自然朝鮮黑鉛の産出杜絕するに至るべきは明かにして朝鮮黑鉛界の衰滅は産出の杜絕は獨り當業者の苦痛とする所なるのみならず戰時必要品として將來の國防上の見地より當局に於ても非常に憂慮する所にして此際朝鮮總督府に於ては朝鮮黑鉛保護上東京帝國議會に之が保護法案を提出し議會の協賛を求むる事となるべしと

明年土木業

東拓の來年度土木事業は全羅南道靈岩郡北一終面に於て干潟地八百三十八町歩の開墾並びに慶尚北道七十萬圓工事期間二ヶ年半及び忠清南道保寧郡熊川面に於て干潟地三百十八町歩の開墾並に工事費豫算四十萬圓工事期間二ヶ年の計畫なるが右二ヶ所共國有未墾地にして既に開墾許可濟なるも本年は既に結氷期に近づきたるを以て來春四月より著手と防川水路、貯水地等の工事を行ひ相場定期間中に滯了し夫より順次開墾に着手する豫定なりと

仲買組合總會

信託株の引受（松江）京城現物取引市場仲買組合は二十七日市場樓上に於て總會を開催し朝鮮天然氷株式會社及び京城現物取引信託株式會社の株式賣出及び朝鮮信託株式會社株式引受の件を決議せるが尙同出は明二十九日臨時委員會を開催の上詳細決定すべしと

選擧人名簿

京城商議調製 京城商業會議所に於ては來る十二月一日を以て評議員の定期改選執行の筈にて既に該選擧人名簿調製に着手し選擧人の生年月日の取調べに付き夫々通牒を發せり

模範店員表彰

仲買人組合にては一ヶ年勤續の市場代理人に對し二十七日金牌を贈呈し模範店員として表彰したるが之れに對して市場側よりも謝賞として金一封を贈呈した受賞者左の如し

▲白井仲買店日下順一郎▲吉見仲買店中村榮三郎▲金鹿龍仲買店九元▲田中仲買店長谷川良介▲塚野仲買店中山秀雄▲川勝猪兵衞▲大倉仲買店川崎伸雄▲店日月隆男▲谷金山仲買店沼子文作▲南田▲谷頭求

土協評議員會

朝鮮土木建築協會にては廿八日午後一時より同會樓上に於て評議員會を開催し重要案件に付協議せり

京城金融 廿七日現在左の如し

	廿七日	京	大阪
朝鮮銀行分			
發行高	一〇八、〇一二、九六一、八〇一		
正貨準備	五八、二六九、三八一、〇五		
保證準備			
コール	無條件	一五、〇〇	一八、〇〇
翌日物			
無條件	一三、五〇	一八、五〇	
六十日物	二四、〇〇		
銀行割引步合			

株式（廿八日）

現株市場出來値

銘柄	前場		後場	
	寄	引	寄	引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
實銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
漢銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韓銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮土	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京電	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電興	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝郵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東亞	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝煙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

乙の部

銘柄	寄	引
信託	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]

短期取引

銘柄	寄	引
京取	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]
亞新	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]

出來高 甲二千九百枚 乙一萬二千八百七十枚 計 甲八十七萬二千四百八十八枚 乙四十七萬七千二百八十枚 短期一萬三千九百七十枚 計七十五萬二千六百十枚

東京現株

銘柄	廿七日後場
鮮銀	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
殖銀	[illegible]
同新	[illegible]
満鐵	[illegible]
同新	[illegible]
東京	[illegible]
南毛	[illegible]

大阪株式

銘柄	二十八日前場寄付	二十七日後場大引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]

安東株式

	寄付	大引
○廿七日後場 安取當先	[illegible]	[illegible]
○廿八日前場 安取當先	[illegible]	[illegible]

前場は奔騰

昨後場買方主力たる新田の解合申出でに二十一圓方棒値として一萬三千五百株の解け合成立したる結果は買方にそれだけ手空きを生じたる半面賣方の苦境を事實に於いて立證

五圓二十錢高

[illegible]

五圓五十錢高

より實に八圓高とな面を現はし前日引値

[illegible]

六圓高

拂安値は買氣潛在 銀塊高の折

大勢定まる 大相場來らん

敵の軍門に降り一萬二千五百の賣玉全部を二十一圓に解合

新田は潔く

[illegible]

地場上げ賛成

採算上押目買

短期日步

銘柄	算定	賣方	買方
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
亞新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

北萬だより

後場も強調

幅を利かする意氣込みの値

二十圓以上の値

[illegible]

證據金引上

京取漸騰步調に鑑み三十日後場より週間物に限り本證據金二十圓を三十圓に委託證據金三十圓を四十圓に引上ぐることゝなれり

主要株步ミ値段

前場　短期取引

[illegible]

東京筋の利喰

出て餘勢十八錢ご吹二圓の關門を突破

買方骨抜き

天井未だし

大阪一間臺

米況（二十八日）

仁川期米 前場猛進

[illegible]

後場新高値

躍騰し四十五錢ご新値によ

仁川米取引所 仲買店

（合） 仲買店 電話長五三六番 六〇二

穀米餘聞

京城正米

白米更に昂騰

大豆

小麥

南大門廻穀

仁川正米

十二圓二十錢に

釜山正米

千石の取引行はれ

群山正米

東京期米

大阪期米

兵庫期米

下關期米

各地期米

大阪三品

四十三片二分の一 米棉も又一圓八十錢高

仁川米豆取引 仲買人 海岸通三丁目 那須仲買店 電話長三三一、七六三 （電略〇ニ又ハ一〇）

特價提供 九月票十八番洋紙 廉美人票安全燐寸 染料各種 板硝子各種 仲買人 京城南大門通二丁目 村上商店 支店 村上商店 □相場表御一報次第至急仕候

不動産競賣公告

京城地方法院

[illegible]

特許 五二一九 脫腸治療器 理想平ゴム商製 心持よく全く治す 各地の藥店にあり 大キン王治ス

義手義足 高野義手足製作部 京城本町一丁目

上城酒造場 仁川

キ・メ・早・キ 藥病りんへりー ルーペリ うみ・いたみは特製リベール 五日分でとまる 發賣元 九條藥局

京日案内 女中 貸家 讓店 賣物 賣却 裁縫 看護 貸家 賣貸 讓店 古本 店舖

浮草 (65)

入江新八 作　宮川早苗 畫

畫家の家 (七)

『何うしたら、好いか分りませんわ。……』道代は困つてしまつた。

『そんなに初心なの、あなたは………』

道代は眞赤になつてゐた。秋子から河村に逢ふことを幾度も勸められるので、彼女はこう〳〵下へ降りて行つた。今日は何だか河村に些つとも道代は逢ひたくなかつた。河村を戀しいとも懷しいとも思はなかつた。丁度適當で宮崎の姿を見た時に、あの人が自分を尋ねて來たのだと思つたばかりで、嫌に思つたと同じやうな感情が道代の心を臆劫にしたけれど、河村が自分に逢ひに來てゐることは確かだつたので、下に降ると、果して河村は階子段の處に立つて道代を待つてゐた。

『離座敷の方へ参りませう』さう云つて河村をつれて、道代は先に立つた。

『顯君のここへ行つてゐたの?』と河村は坐ると、直ぐに聞いた。

『エヽ』道代は云つて、暫く考へてから、

『顯さんて、隨分好い方ですわね』と附け加へた。

『さうかね。』

河村は云つたばかりだつた。彼は心の中で、此の道代は顯を好いてゐるんだな、と思つた。隨分此の女は浮氣女だと思つた。顯を初めて見た時の道代の顏に現れてゐたことを知つてゐた河村は、顯と此女を近づけることは實に險呑だと思つた。顯の道代を見た時の表情も普通ではなかつた。兩人は心の中に戀愛を感じてゐるのだといふことは、その席にゐた河村も秋子も直に感じたことだつた。斯うした威壓の世界に生きてゐた彼等は、斯うした心的狀態を感覺することは、丁度能く教育された獵犬が鳥獸の足跡を嗅ぎ知るよりももつと敏感だつた。隱さうとしてもとても隱し切れることではなかつた。だから河村は秋子に向つて道代を顯に近づけることの不可ないことを忠告しやうと思つたが、それは自分に弱點があつた爲めに、どうも、それを口へ出すことが出來なかつた。彼が道代や顯や、秋子の心を讀むことに敏感だつたと同じやうに彼自身がまた他からも心を讀まれてゐることを知つてゐたので、秋子の思惑を恐れてその時は口を噤んでゐたのだつた。今夜、道代が二度目に顯に逢つた後の道代の口振を聽いて、彼は愈自分の恐ろしい敵が出來たことを感じた。そして、是は、秋子によつて顯と道代との通路を塞ぐことが必要だと思つてゐた。

河村は、それから道代を戶外に伴れ出さうと思つて銀座へ散步に行くことを勸めたが、道代は一言の下にそれを斷つた。さうして道代は、まるで人が變つたやうに眞面目な態度で斯う云つた。

『河村さん、私は、もう、ぶら〳〵遊んでなぞはゐられません。私は勉強しないではなりません。私は此れから一生懸命に文學をやります。私は本當に眞面目に自分を考へて來ました。』

さう云つて涙組んだ顏をしてゐた。そして、キチンと坐つて膝の上に兩方の手を置いた態度は心から思ひ詰めてゐるやうだつた。

『それは好いさ。……だが急にさう固くならないでも好いですよ。文學をやるからと云つて、心持を寒くする必要はないさ』

『否え、私は能く考へると、本當に心が寒くなります。是から私は大變ですわ。』

河村は取つ附きやうが無かつた。道代がさう云つて思ひ詰めた感情を語つてゐる中にも彼女の嬌態は彼の眼をそそのかすやうに迫つて來た。彼は、どうかして、道代と、もう一度しみ〴〵戀を語りたいと思つたことも、其夜は遂にどうこともすることが出來なかつた。彼はろく〳〵秋子に逢ひもせずに不愉快な思ひで家に歸つたのだつた。

其後道代は、顯許を出てから以來始めて本當に自分といふものを考へたのだつた。彼女は曉近くまで獨りで起きてゐた。そしてぢツと現在の自分の取るべき道を考へた。兎に角何を思ふよりも、勉強しなくちやならないといふことが差し當つての問題だつた。

『勉強しやう。〳〵〳〵。秋子先生に附て確乎勉強しやう』さう思ひ決して眠りに就いた。

仁川宮町二丁目　眼科耳鼻咽喉科　荒川醫院　電話一〇二番

專門新式金ユビワ　其他御好に應ず　明治町二ノ六枝肛門病院前　荒木貴寶堂

宮原晋

過ぎゆけば炊ぐ哀しきことごとさにづらふ少女操じつゝや〳〵し靜か撥ね出すのも忘れて寢たか

屋根の上に南瓜みのりてこゝだく夕陽にてらひいみじく光る

對岸の秋の河原に石投げて遊べば暮るゝ一日淋しや

夕燒空映にて明るき水のおも凪て魚のはねあがる見ゆ

故里の女は咲くか華麗にこもり流ゆく山鳩の群

梅野草二

貨泄涌の小さき窓の硝子戸に陽はさむ〳〵と燃えてゐるなり

流浪の兒遊ぶ汝に泌めみ雜草のまゝ流き篁にも涙滲める

血に染みて死にゆける女の如き悲しさこそ落葉にわきて流るゝ

人間のそのごん底の苦しみか睨れてほつと息はつけども

のぶ子

丘の上耶蘇會堂の夕空に一群の雲動かざりけり

風和ぎて鳥も鳴かなく會堂か寂しい寂寞のいよ〳〵深しも

やゝしばし待てばかくろふ地中より浮び出でたり何色の月

米山多恵志

宝は夕顔い花にも君の面影の想ひ渡るなりすそがれの家に

須木尾まさこ

ふと見やるポプラ葉葉に鳩へず風にも春の心歩くも

短歌（矢橋小葩選）

哀しき女　池ゆきを

工場の更けの靜寂をこつとこと鳴く器械はかなしかりけり

朝早く下駄の響に目覺めたり哀しき工女の群は晴れつか

なさめらばまこと哀しき工女なり下駄音高く通ひゆくから

罵りつ食堂へゆく賑かしさまこと哀しき工女なりけり

綿屑み髪から散てゐる哀しき眼な落たる工女なりけり

哀しきは更けの食堂の二三人白い帽子の工女なりけり

おのゝしく縱に寢てまこと哀しき工女なりけり

あゝ部屋に辟なひそめて眠るあり

川柳次の題

課題『行倒れ』『友』『戀』『蛇』

賞金　天の句へ進呈

締切　九月三十一日

句數　五句以内

宛所　本社副苑係宛　用紙端書に限る

行倒れ

（兩句）笑業の瑞穂國に行倒れ　花醉

（同）倒、昔は名ある男達　劍花坊

友

（兩句）らりくに友は大人になりにけり　五葉

（同）友達に世話を燒かせて強面ひ　劍花坊

戀

（兩句）戀といふことは傾城つまむほど　古川柳

（同）もう戀もこれ迄なりや子が五人　劍花坊

蛇

（兩句）地上權蛇はどこに遁道つて行く　劍花坊

（同）蛇光る松瀬牡丹のい赤道　同

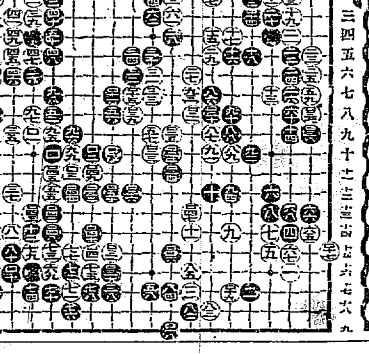
▲訂正　二十七日紙上短歌欄矢橋小葩選とあるは尾上柴舟選の誤に付訂正す

詠草は便宜上京城支局選者宛送られ度く字體は明瞭に記され度し

新局碁戰（完）

三段　三子　段光　京城

平山　山本　福有　齋藤　雅氏



百四十一〇わの十五　百四十二ⓐよの十三　百四十三〇たの十三

百四十四ⓐかの十二　百四十五〇よの十一　百四十六ⓐりの十五

百四十七〇ちの十三　百四十八ⓐよの十四　百四十九〇わの十一

百五十ⓐなの十二

君よ

又、三日も通じがありませぬか

溜飲、頭痛も便秘が基

早く

參天堂の

健通丸

をお服みなさい!

タセニナラズよく通じます

溜飲、頭痛、逆上、は必らす通じなき人に起る、其他耳鳴、肩の凝、ぢ疾、水腫、杯の人は健通丸を用ふれば誠に心地よく治ります

定價金十錢、二十錢、三十錢、五十錢、壹圓

▲内外各地藥店にあり

健通丸、大學目藥本舖

大阪市　參天堂　合資會社

次は東京驛（ステーション）

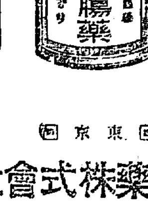
（星製藥株式會社營業事務所）

次は東京驛と電車や汽車に呼び聲する頃から、大東京の南に當つて巍然として天空を突ける大建築を見るであらう、それぞ我星製藥株式會社である。有名なホシ胃腸藥は此會社の製品であります。ホシ胃腸藥は弱い胃を強くし、消化不良、便秘等に最もよく効きます。

胃病良藥

ホシ胃腸藥

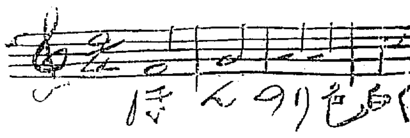
赤い罐



定價　五十錢　壹圓

東京

星製藥株式會社



レートフード

歡喜に滿ちて

若き人々に賞揚され

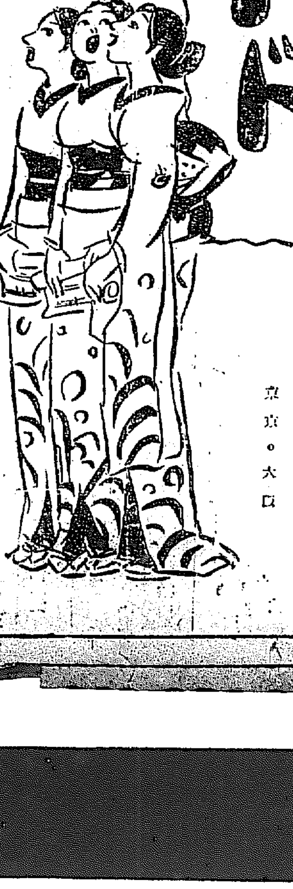
家庭に愛用される

「ほんのり色白くなる」

隱化粧料

理想的の

素化粧料



白粉下としても

レートフードは生地を美しく白く致しますが、これを使へば使ふ程美くしさを增すことになり地肌が完全に調へられます。その上、白粉の附を助ける力がありますから白粉下としての御愛用をおすゝめ致します。

レートフード白粉本舖

平尾贊平商店

東京・大阪

10.9.206